

# SELEN

HD-TVI対応ハードディスクレコーダー

# DVR-AT32F



## 取扱説明書



このたびは、セレンHD-TVI対応ハードディスクレコーダー DVR-AT32F をお買い求めいただきありがとうございます。製品を安全に正しくお使いいただくために、使用前に必ず本書をお読みください。本書はいつでも確認できるよう、わかりやすい場所に保管してください。

## DVR-AT32F 主な製品特長

- 1 大容量4TB HDD搭載 長期保存に最適
- 2 フルハイビジョン画質 1080P (約200万画素)
- 3 カメラ4台まで接続可能
- 4 録画中の再生・各種設定変更可能
- 5 人物・車両ターゲット分類
- 6 動体、境界保護等のイベント検知で録画可能
- 7 外出先から映像の確認が可能 (スマホアプリ・Windowsブラウザ)  
④インターネット環境が必要です。  
本サービスは予告なく終了することがあります。
- 8 バックアップ用外付USBストレージ 最大2TB対応 ※USB2.0
- 9 マウスで簡単操作
- 10 管理者登録後、すぐに録画開始

## 梱包内容

ご使用の前に、必ず梱包内容をご確認ください。

- レコーダー本体 × 1
- 専用ACアダプター × 1
- HDMIケーブル × 1
- USBマウス × 1
- 「防犯カメラ作動中」シール × 1
- 取扱説明書（保証書） × 1



- 本機は、セレン製防犯カメラ SHT-G372（別売）、SHT-G382（別売）用のDVRです（2026年5月時点）。
- 本機と防犯カメラの接続には、接続ケーブル（別売）が必要です。カメラ接続例は、P.4をご覧ください。
- 「防犯カメラ作動中」シールは、ご自由にお使いください。

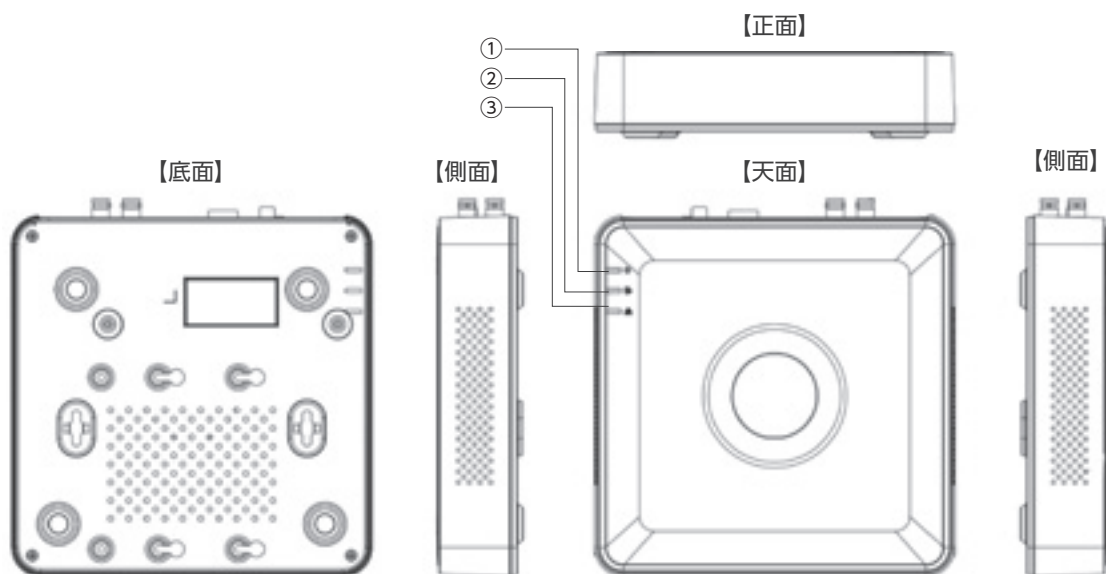
## 本書の表記について

- 本書では DVR-AT32F を「本機」、「DVR」、「レコーダー」または「デバイス」と表記しています。
- 本書では画面上のボタンやチェックボックスなどの表示を [ ] で囲んで表記しています。
- 本書で記載している画面の表示内容は、「例」です。
- イラストや画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書内に記載している **オプション** は、必要に応じて任意で設定していただく項目です。
- 本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。尚、本文中では「®」等を明記していません。
- 本書内の画像は実際のアプリやブラウザの画像とは異なる場合があります。
- アプリやブラウザの画面表示は予告なく変更する場合があります。

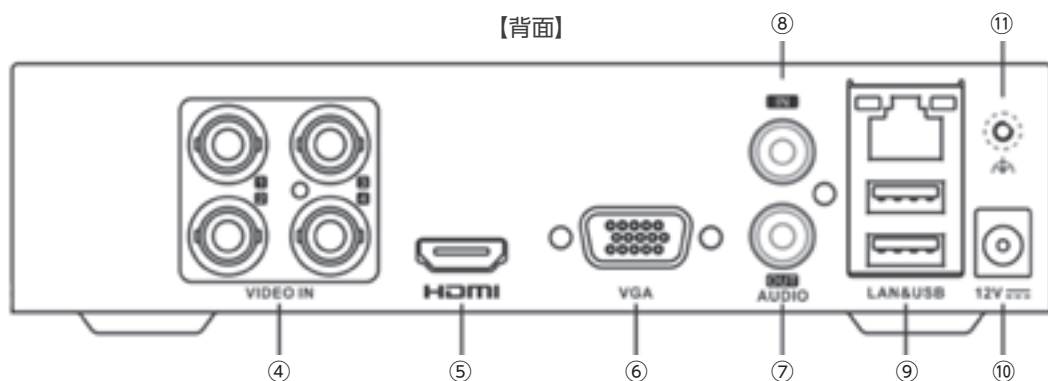
## 遠隔監視システム「Guarding Vision」について

- 本システムの動作は、PC やスマートフォンの性能、ネットワーク環境などに大きな影響を受けます。PC やスマートフォン、ルーターなどの取扱説明書も合わせてご参照ください。
- 遠隔監視システムを使用するには DVR 本体のネットワークの設定を行い、[Guarding Vision] を有効にしておく必要があります。（DVR 本体のメインメニュー ⇨ [設定（イージーモード）] ⇨ [ネットワーク] ⇨ [Guarding Vision] を [有効化] して [適用] をクリックします。）  
※詳細は、「5.2.2 Guarding Vision」P.27 をご参照ください。

## 各部の名称とはたらき

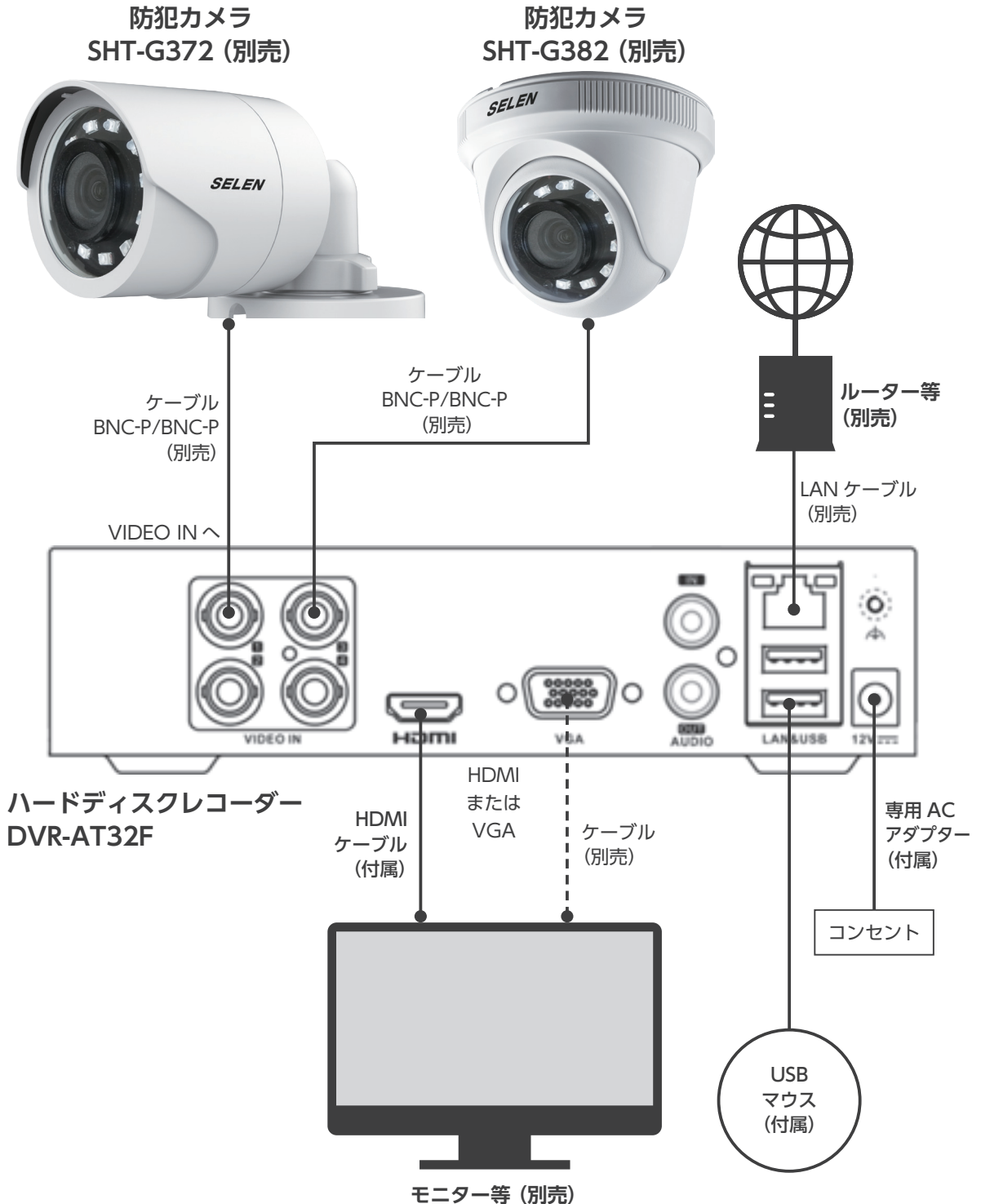


番号	名称	アイコン	説明
①	電源ランプ		電源が入ると赤色に点灯します。
②	ハードディスクアクセスランプ		HDD にデータを書き込む間やデータを読み出す間、赤色に点灯します。
③	通信ランプ		データ通信時は青色に点灯します。



番号	表示 / 名称	説明	番号	表示 / 名称	説明
④	VIDEO IN	映像入力端子× 4	⑨	LAN & USB	LANケーブルを接続します。
⑤	HDMI	HDMI 映像出力端子			付属のマウスや USB メモリー (別売) を接続します。
⑥	VGA	VGA 映像出力端子	⑩	12V	電源入力
⑦	AUDIO OUT	オーディオ出力端子	⑪		GND (アース)
⑧	AUDIO IN	オーディオ入力端子			

## カメラ接続例





⑤ハードディスクレコーダー、防犯カメラは、それぞれ専用 AC アダプターでコンセントへ接続してください。



## 安全上のご注意 (必ずお守りください)











お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、正しく安全にお使いいただくため、重要な内容を記載しています。次の内容 (表示・図記号) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
 <b>警告</b>	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

図記号	図記号の意味
 <b>禁止</b>	禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 <b>指示</b>	指示する行為の強制 (必ず実行していただく) を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 <b>警告</b>	
 <b>指示</b>	<p>煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!</p> <p>異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p>キャビネット (天板) をはずしたり、改造したりしない</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。</p>
 <b>水ぬれ禁止</b>	<p>花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない</p> <p>内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>内部に異物を入れない</p> <p>通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。</p>
 <b>ぬれ手禁止</b>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>不安定な場所には置かない</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>落としたり、キャビネットを破損したりした場合は使わない</p> <p>火災や感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電源コードを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 重いものをのせない ● 引っ張らない</li> <li>● ねじらない ● 無理に曲げない</li> <li>● 加熱しない ● 加工しない ● 束ねない</li> </ul> <p>コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり、断線したりするなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。</p>
 <b>接触禁止</b>	<p>雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>

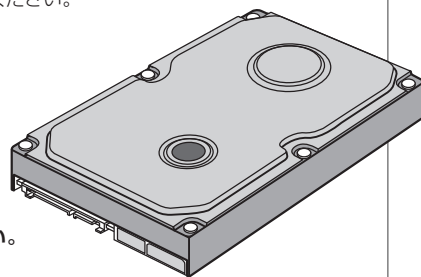
 <b>警告</b>			
 指示	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない 交流 100V 以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流を超えて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。	 指示	電源プラグは根元まで確実に差し込む  差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
 指示	AC アダプターなどは、付属又は指定のものを使う 指定以外のものを使用すると、電圧・電流値や＋の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。	 指示	AC アダプターを抜き差しするときは、コードを持って引っ張らない コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

 <b>注意</b>			
 禁止	湿気やほこりの多い場所に設置しない 火災や感電、故障の原因になります。	 禁止	振動や強い衝撃を与えない 火災や感電、故障の原因になります。
 指示	本製品（付属品含む）は屋内専用です 屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。	 電源プラグ	長時間使用しないときや、お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く 漏電、感電の原因になります。
 禁止	通風口をふさがない ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない 通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。	 指示	本製品は日本国内専用です 放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。 This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
 禁止	電池は幼児の手の届く所に置かない 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。	 指示	電池はプラス（+）とマイナス（-）の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる 間違えると電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	電池の液がもれたときは、素手でさわらない 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。	 禁止	指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。	 指示	電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す 電池を入れたままにしておく、過放電や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止		 指示	電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

## 使用上のご注意

### 内蔵ハードディスク（以下、HDD）について

- 本製品は、精密機器である HDD を搭載しております。本製品の取扱いには、十分ご注意ください。
- 本製品に振動や衝撃を与えないでください。  
特に通電中や HDD へのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 録画・再生の動作中に、電源プラグを抜かないでください。
- 本体の電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。
- 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。  
HDD に記録されているデータが損なわれることがあります。
- HDD に異常が発生したと思われる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **HDD は、消耗劣化する部品です。使用環境により寿命は異なりますが、  
+25℃の環境でご使用になる場合で、20,000 ～ 30,000 時間を目安に交換してください。**  
(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。)
- HDD の交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 故障の早期発見のため、定期的に録画再生の確認をされることをおすすめします。



### 使用電源について

- ・使用電源は AC100V です。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

### 使用温度範囲について

- ・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、内蔵ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。  
+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

### 大切な記録の保存について

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。
- ・DVR を使用中、DVR もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・正確な記録を残すために、定期的（1ヶ月に1回程度）な日時の確認・設定をおすすめします。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

### DVR を使用した監視システム構築上の注意

- ・DVR を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組み合わせによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
- ・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー/バックアップをとられることをおすすめします。
- ・万一、DVR の不具合により監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他の損失が発生した場合、弊社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・DVR のリレー機能を、重大な判断に使用したり、人命に関わる用途などに使用したりしないでください。
- ・記録動作中にコンセントを抜いたりプレーカーを切ったりすると、ハードディスクが故障したり、記録したデータが再生できなくなる恐れがあります。

### 長期間使用しない場合の対応について

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

### ネットワークについて

- ・ネットワークの設定については、必ずネットワーク管理者の権限のもとで設定されることをおすすめします。

### 動体検知機能について

- ・DVR に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。DVR の検知機能を用いて発報するシステムなどに接続している場合は、誤動作にご注意ください。
- ・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
  - 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
  - 夜間など、映像の輝度が低い
  - 被写体の動きが遅い  被写体が小さい
  - 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
  - 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
  - 蛍光灯がちらつく
  - 被写体に奥行きがある
- ・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあつたエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しない場合や誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

### 結露について

- ・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで 2 時間程度放置してください。
  - 湿度の高いところ  暖房した直後の部屋
  - 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

### 外部機器について

- ・本製品には、USB メモリーでのバックアップ機能が搭載されています。また、本製品をインターネット環境に接続し、外部のパーソナルコンピュータより映像の確認をすることができます。
- ・本製品に接続する外部機器については、実際の運用前に必ず確認をしてご使用いただくようお願いいたします。
- ・ご使用になりたい外部機器が運用方法に適合しない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。

### 機器を廃棄または譲渡される場合

- ・HDD 内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

### 使用場所について

- ・DVRは屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください
  - 直射日光の当たる場所
  - 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
  - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
  - 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気(湿気)の多い場所
  - 厨房など蒸気や油分の多い場所
  - 傾斜のある場所
  - 水滴または水沫のかかる場所
- ・横置き(水平)に設置してください。縦置き、傾けての設置など不安定な場所に置いて使用すると、HDDなどの故障の原因となります。

### 放熱について

- ・内部に熱がこもると、故障の原因となります。
- ・通風口を壁やラック、布などでふさがないようにください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。

### 冷却ファンについて

- ・冷却ファンは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境でご使用になる場合で、20,000～30,000時間を目安に交換してください。(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。)
- ・交換時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 雑音源は避けてください

- ・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

### 付属の電源コードについて

- ・付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

### お手入れについて

- ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

### その他

- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、DVR底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のがれや着色の原因となることがあります。
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。
- ・移動させるときは、必ず電源をOFFにし、完全に停止したことを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品やHDDをいためることがあります。
- ・移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

### 免責について

- ・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地震、雷、風水害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は、一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・DVRを使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・商品の設置(取付け・取外しなど)により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

### 個人情報の保護について

- ・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。
- ※法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。(その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。)
- ※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

### 著作権・肖像権についてのご注意

- ・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

### 輸出制限について

- ・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

### 用途制限について

- ・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
- ※高信頼性を必要とする用途例:化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

# 設定・操作

第1章 起動		
1.1	DVRの使用開始設定	P.10
1.2	ログイン	P.12
1.2.1	アンロックパターンによるログイン	
1.2.2	パスワードによるログイン	

第2章 ライブビュー		
2.1	基本操作	P.13
2.2	PTZコントロール	P.17
2.2.1	PTZパラメータの設定	
2.2.2	PTZコントロールパネルの概要	
2.2.3	プリセットのカスタマイズ	
2.2.4	パトロールのカスタマイズ	P.18
2.2.5	パターンのカスタマイズ	

第3章 再生		
3.1	基本操作	P.19
3.2	通常再生	P.20
3.3	イベント再生	P.21
3.4	スライスデータの再生	P.22
3.5	クリップのバックアップ	P.23
3.6	バックアップファイルの再生	

第4章 ファイル検索・バックアップ		
4.1	ファイルを検索してバックアップ	P.24
4.2	クイックバックアップ	

第5章 設定 (イージーモード)		
5.1	システム設定	P.25
5.1.1	全般	
5.1.2	ユーザー	
5.1.3	異常検知設定	P.26
5.2	ネットワーク設定	P.27
5.2.1	全般	
5.2.2	Guarding Vision	
5.2.3	電子メール	P.28
5.3	カメラ設定	P.29
5.3.1	アナログ	
5.3.2	OSD	
5.3.3	動体	P.30
5.4	録画設定	P.33
5.4.1	ストレージ	
5.4.2	スケジュール	
5.4.3	パラメータ	P.36

第6章 設定 (エキスパートモード) ※高度な設定		
6.1	システム設定	P.37
6.1.1	全般	
6.1.2	ライブ表示	P.38
6.1.3	ユーザー設定	
6.2	ネットワーク設定	P.39
6.2.1	全般	
6.2.2	プラットホームへのアクセス	P.41
6.2.3	電子メール	
6.3	カメラ設定	
6.3.1	アナログ	P.42
6.3.2	表示	
6.3.3	プライバシーマスク	
6.4	イベント設定	P.43
6.4.1	通常イベント	
6.4.2	境界保護	P.45
6.4.3	顔認識	P.47
6.5	録画設定	P.48
6.5.1	スケジュール	
6.5.2	パラメータ	
6.5.3	ストレージ	P.49
6.5.4	詳細設定	

第7章 メンテナンス		
7.1	デフォルト設定への復元	P.50
7.2	ログ情報	
7.3	システムサービス	P.51
7.4	ブザースイッチ	
7.5	デバイスのメンテナンス	P.52
7.5.1	再起動のスケジュール	P.53
7.5.2	デバイス状態	
7.5.3	時刻同期診断	
7.5.4	アドレスフィルタ	P.53
7.6	アップグレード	
7.6.1	ローカルアップグレード	
7.6.2	オンラインアップグレード	P.54

第8章 アラーム		
8.1	イベントヒントの設定	P.55
8.2	アラーム情報を表示・再生	P.56

## 1.1 DVRの使用開始設定（管理者登録）

初回アクセス時には、管理者パスワードを設定して DVR をアクティベートする必要があります。

### 開始前に

- DVRの電源を入れてください。

### 設定方法

- ① 「地域と言語を選択」項目をそれぞれ選択します。

- ・ 地域
- ・ 言語
- ・ タイムゾーン
- ・ 日付の表示形式
- ・ システムの日付
- ・ システム時間

- ② [OK] をクリックします。

- ③ [パスワード] と [パスワードを確認] に同じパスワードを入力します。

**オプション** [パスワードのヒント] を設定します。

パスワードを忘れた場合、パスワードを思い出せる手助けになります。

#### 強力なパスワードの使用を推奨

製品のセキュリティを強化するため、以下のルールに従ってご自身で強力なパスワードを作成することを強く推奨します。

- 8～16文字。
- パスワードには以下の文字を含めないでください：ユーザー名、123、admin、4桁以上の連続した昇順または降順の数字、または4文字以上の連続した同一文字。
- 数字、大文字、小文字、特殊文字のタイプのうち、少なくとも2つを含むこと。
- 危険なパスワードは使用できません。
- 特にセキュリティレベルの高いシステムでは、パスワードを定期的リセットすることをお勧めします。毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品をより確実に保護できます。

**オプション** ログインが容易な [ロック解除パターン] を設定する。

設定したい解除パターンを2回、マウスで描きます。



- ④ ここまでの設定が終了したら、「自動」をクリックします。  
自動設定が完了したら、「次」をクリックします。



- ⑤ オプション「Guarding Vision」を有効化して、「次」をクリックします。  
[サービス規約とプライバシーに関する声明を読み、同意しました。]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。  
[Guarding Vision 設定]を設定（詳しくは、5.2.2 Guarding Vision P.27 参照）して、[次]をクリックします。



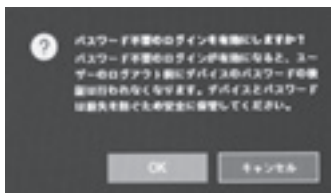
- ⑥ オプション「パスワードのリセット方法」を入力して、[終了]をクリックします。

パスワードを忘れた際に、パスワードのリセットに使用します。

- ・電子メール
- ・秘密の質問



- ⑦ 確認画面で「OK」をクリックすると、ライブビュー画面になります。



➔ ライブビュー画面

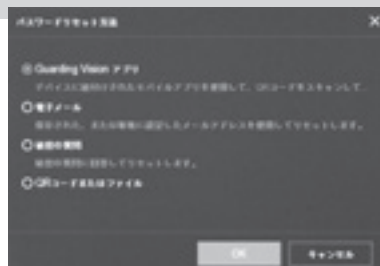
自動的に録画を開始します。

## パスワードをリセット

ログインパターンとパスワードを忘れた場合、パスワードをリセットできます。

### 設定方法

- ① パスワードログイン画面で [パスワードを忘れましたか?] をクリックします。
- ② パスワードのリセット方法を選択します。
- ③ 画面の指示に従ってパスワードをリセットしてください。



## 1.2 ログイン

### 1.2.1 アンロックパターンによるログイン

#### 設定方法

- ① マウス右クリックでメニューを選択、またはライブビュー上でマウス左クリック。
- ② メニュー操作に入るには、あらかじめ定義したパターンを描画してください。
  - パターンを忘れた場合は、「パターンを忘れました」または「ユーザーの切替」をクリックし、パスワードでログインしてください。
  - 間違ったパターンを5回描画すると、システムは自動的にパスワードによるログインモードに切り替わります。



### 1.2.2 パスワードによるログイン

DVR がログアウトしている場合、メニューやその他の機能进行操作する前にログインする必要があります。

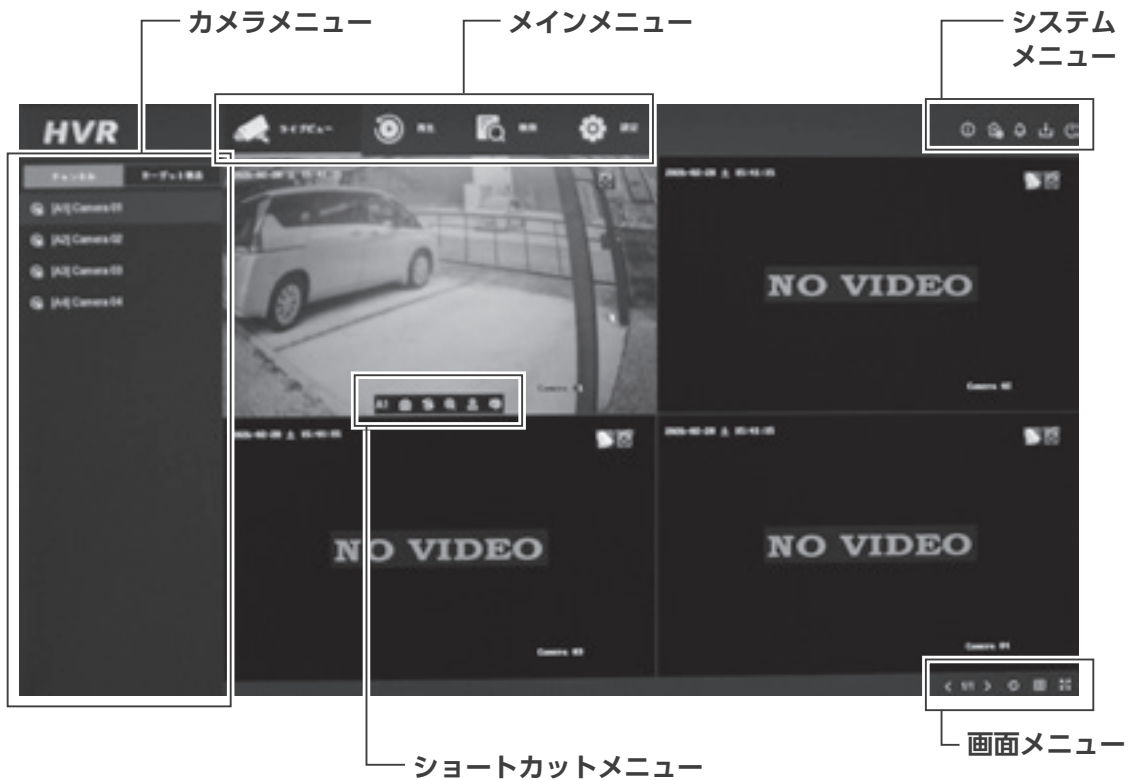
#### 設定方法

- ① 「ユーザー名」を選択してください。
- ② 「パスワード」を入力します。



- ③ 「ログイン」をクリックします。
  - 管理者のパスワードを忘れた場合は、「パスワードを忘れましたか?」をクリックしてパスワードをリセットできます。
  - パスワードを7回間違えて入力すると、現在のユーザーアカウントは60秒間ロックされます。
  - 「パスワード不要のログイン」にチェックを入れると、アンロックパターンでログインできます。

## 2.1 基本操作



▼ライブビュー画面では、各カメラの画面右上にアイコンが表示され、カメラの録画状態と警報状態を示します。

アイコン	説明
	通常イベントおよびスマートイベント検知

アイコン	説明
	録画中

- ライブビュー画面をダブルクリックするとシングルスクリーンモードで表示されます。再度ダブルクリックするとシングルスクリーンモードを終了します。
- ライブビュー画面のカメラ画面位置を変更するには、その画面から目的の画面へドラッグします。
- シングルスクリーンモードでマウスをスクロールすると、前 / 次の画面に切り替えます。
- カメラ画面上にカーソルを置くとショートカットメニューが表示されます。
- カメラ画面上で右クリックすると操作メニュー表示します。







### ▼ カメラメニュー










- 「チャンネル」項目の中で、カメラを選択してダブルクリックすると、選択したカメラに移動します。
- 左上の「ターゲット検出」をクリックし、[人] または [車] を選択すると、指定したライブターゲット検出結果が表示されます。結果の詳細については、[もっと見る] をクリックしてください。

Ⓢ 人 モーション検知、ライン越え検知、侵入検知で有効です。

## ☆ メインメニュー






ボタン	名称	説明
	ライブビュー	ライブビュー画面に移動します。
	再生	再生画面に移動します。
	検索	検索画面に移動します。
	設定	設定画面に移動します。

## ☆ システムメニュー

ボタン	名称	説明		
	メンテナンス ※詳細は「設定・操作【第7章メンテナンス】」を参照。		DVR をアップグレードできます。	
		シンプルリストア	ユーザーパスワードと一般的なネットワークパラメータを除き、すべてのパラメータをデフォルトに戻します。	
		出荷状態回復	DVRを待機状態に戻し、ネットワークを含むすべての設定を復元します。	
		非アクティブに復元	DVRを非アクティブ状態に復元すると、管理者パスワードのみが復元されます。	
		詳細	「ログ情報」、「システムサービス」、「ブザースイッチ」、「デバイスメンテナンス」の設定ができます。	
	Guarding Vision	アプリ版 Guarding Vision をダウンロードするための QR コードを表示します。		
	アラームと異常 (アラームセンター)	「異常検知設定」「基本イベント」「スマートイベント」を一覧表示します。 [設定] から表示するイベントを選択できます。		
	タスク管理	ファームウェアをダウンロードして、アップグレードできます。		
	電源		ログアウト	ログアウトします。
			電源オフ	電源を切ります。
			再起動	再起動します。













## ☆ ショートカットメニュー

カメラ画面上にカーソルを置くとショートカットメニューが表示されます。

ボタン	名称	説明
A1	カメラ番号	カメラ番号を表示しています。
	キャプチャ	ライブ画面をキャプチャします。
	簡易再生	最新の5分間に録画されたビデオの再生を開始します。
	デジタルズーム	ズーム倍率をズームバーまたはマウススクロールで調整し、マウスで画面を動かして、目的の領域を表示できます。 ※右クリックで元の画面に戻ります。
	PTZ コントロール	クリックすると、PTZ 制御モードに入ります。
	ミュート / 音声有効	ライブビュー音声のオン / オフを切り替えます。












## ☆ 画面メニュー

④フルスクリーンモード中はマウスを画面下に移動すると表示します。

ボタン	名称	説明
	前のページ	前のカメラ画面を表示します。
( 1/1 )	〈頁 / 全体頁〉	表示している頁数を表示します。
	次のページ	次のカメラ画面を表示します。
	自動切替 / オートスイッチの停止	ライブビュー画面をカメラ毎に順番に表示します。 ON になっている時は、ボタンを青色で表示します。
(選択中のボタン)	ウィンドウ分割	 1*1 画面 (シングルスクリーン) に切り替えます。
		 2 ウィンドウ分割 (上 / 下) 画面に切り替えます。
		 1+2 画面に切り替えます。
		 2*2 画面に切り替えます。
		 1+5 画面に切り替えます。
		 1+7 画面に切り替えます。
		 3*3 画面に切り替えます。
		 カスタムレイアウト 1 または 2 画面に切り替えます。 ④メニュー内の設定ボタンでカスタムレイアウトを設定できます。
	フルスクリーン / フルスクリーンを終了	フルスクリーン (全画面) モードにします。 / 通常画面モードにします。

## ☆ 操作メニュー

カメラ画面上で右クリックすると操作メニュー表示します。

ボタン		説明	
	フルスクリーン / フルスクリーンを終了	フルスクリーン (全画面) モードにします。 / 通常画面モードにします。	
	シングルスクリーン	選択したカメラをシングルスクリーンで表示します。	
	ウィンドウ分割	※ P.15 画面メニュー内の内容をご確認ください。	
	以前の画面	前のカメラ画面を表示します。	
	次の画面	次のカメラ画面を表示します。	
	自動切替 / オートスイッチの停止	ライブビュー画面を約 10 秒毎に自動で切り替えます。 ON になっている時は、ボタンを青色で表示します。	
	カメラ	「設定」画面へ移動します。	
	再生	「再生」画面に移動します。	
	PTZ コントロール	PTZ コントロール画面を表示します。	
	ビデオ画質モード	標準 (デフォルト)	画質の設定を切り替えます。
		ビビット	
		明るい	
		ソフト	
		カスタム	「輝度・彩度・コントラスト・色彩」の項目を調整して設定できます
	カメラマイクを有効化 / カメラマイクを無効化	カメラマイクのオン / オフを切り替えます。	

## 2.2 PTZ コントロール

### 2.2.1 PTZ パラメータの設定

PTZカメラを制御する前に、PTZパラメータを設定する必要があります。

#### 設定方法

- 1 ライブビュー画面で設定するカメラを選択して、ショートカットメニューまたは操作メニューの [PTZ] をクリックします。
- 2 [設定] をクリックします。
- 3 PTZ カメラのパラメータを設定します。  
④すべてのパラメータは、PTZカメラと同じである必要があります。
- 4 [OK] をクリックします。



### 2.2.2 PTZ コントロールパネルの概要

ボタン	説明
	方向ボタン、および自動循環ボタン
	PTZ 動作速度

ボタン	説明
	ズーム - / +
	フォーカス - / +
	絞り - / +

### 2.2.3 プリセットのカスタマイズ

イベント発生時に、PTZカメラが向くプリセット位置を設定します。

#### 設定方法

- 1 ライブビュー画面で設定するカメラを選択して、ショートカットメニューまたは操作メニューの [PTZ] をクリックします。
- 2 プリセットリストから目的のプリセットを選択します。
- 3 方向ボタンを使用してカメラを必要な位置に移動させます。  
ズームとフォーカスを任意に調整します。  
④すべてのパラメータは、PTZカメラと同じである必要があります。
- 4 [OK] をクリックします。



#### 次にすべきこと

プリセットリストでプリセットをダブルクリックして呼び出します。

## 2.2.4 パトロールのカスタマイズ

パトロールとは、指定された順序で一連のプリセットで構成される経路です。

### 設定方法

- 1 ライブビュー画面で設定するカメラを選択して、ショートカットメニューまたは操作メニューの [📍] をクリックします。
- 2 [パトロール] をクリックします。
- 3 目的のパトロールの [📍] をクリックします。
- 4 [+] をクリックします。

ボタン	説明
+	パトロールの追加
🗑️	削除

ボタン	説明
↑ / ↓	選択の切替
→	元の画面を閉じる

- 5 キーポイントのパラメータを設定します。

キーポイントはプリセットに対応しています。プリセット番号は、パトロールを循環する際に PTZ カメラが追従する順序を決定します。[巡回時間] は、対応するキーポイントに留まる時間間隔を指します。[速度] は、PTZ カメラがキーポイントから次のキーポイントへ移動する速度を定義します。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [保存] をクリックします。



### 次の操作

パトロールを選択し、[▶] をクリックして呼び出します。PTZ カメラは定義されたパトロール経路に沿って移動します。

## 2.2.5 パターンのカスタマイズ

パターンは、特定の位置での移動経路と滞留時間を記録します。

パターンを呼び出すと、PTZ カメラは記録された経路に従って移動します。

### 設定方法

- 1 ライブビュー画面で設定するカメラを選択して、ショートカットメニューまたは操作メニューの [📍] をクリックします。
- 2 [パターン] をクリックします。
- 3 [パターン] を選択します。
- 4 [▶] をクリックします。
- 5 方向ボタンを使用してカメラを必要な位置に移動させます。ズームとフォーカスを任意に調整します。
- 6 [⊙] をクリックします。これで PTZ カメラの移動経路がパターンとして記録されました。



### 次にすべきこと

パターンを選択し、[▶] をクリックして呼び出します。PTZ カメラは事前定義されたパターンに従って動作します。

## 3.1 基本操作

メインメニューの [再生] をクリックして、再生に移動します。

再生方法選択切替

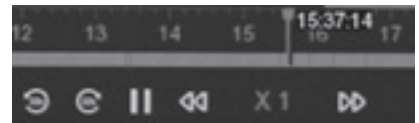
カメラリスト ①を選択して、カメラ選択の  がひとつの場合は、1画面で表示します。それ以外の場合は、4画面で選択されたカメラが表示されます。



カレンダー

右上に「▼」マークのある日付には録画データがあります。

タイムライン










### ☆ 再生メニュー

ボタン	操作
	USBストレージにある外部ファイルを選択できます。
	人物が現れる録画をマークします。
	車両が現れる録画をマークします。
<input type="checkbox"/> 通常のビデオをスキップ	再生する時間を人物または車両の現れる録画までスキップします ③  または  を ON にしている時に表示します。
	再生している時間位置マウスで移動できます。
	30秒巻戻し再生
	30秒間早送り再生

ボタン	操作
	再生 / 一時停止
	再生速度ダウン
	再生速度
	再生速度アップ
	全画面表示 / 全画面表示解除 ③ フルスクリーンモード中はマウスを画面下に移動すると表示します。
(タイムライン)	タイムラインで表示する時間を選択 ・ 30min ・ 1時間 ・ 3時間 ・ 6時間 ・ 24時間 ③ タイムライン上でマウススクロールすると、表示時間を切り替えます。

## ☆ ショートカットコントロール

カメラ画面上にカーソルを置くと、ショートカットメニューが表示されます。

ボタン	名称	操作
A1	カメラ番号	カメラ番号を表示しています。
	解像度を有効にする / 解像度を無効にする	解像度を有効にすると解像度を調整できます。
	ミュート / 音声有効	オーディオのオン / オフを切り替えます。 オーディオをオンにすると解像度を調整できます。
	デジタルズーム	ズーム倍率をズームバーまたはマウススクロールで調整し、マウスで画面を動かして、目的の領域を表示できます。 ※右クリックで元の画面に戻ります。
	タグ追加	タグを追加します。
	ロック	ビデオをロック / ロック解除します。
	クリップ	ビデオをクリップする「開始時間」と「終了時間」を設定して、録画データをエクスポートできます。
	スマート検索	「動体検知」、「侵入検知」、「ライン横断検知」ルールを指定して、検索・再生することができます。 ⑤ イベント再生画面で再生している時に表示します。

## 3.2 通常再生

### 設定方法

- 1 【再生】に移動します。
- 2 【通常】をクリックします。
- 3 カメラリストからカメラを選択します。
- 4 再生する日付をカレンダーから選択します。  
④ 日付の右上にある「▼」マークは、再生可能な録画データがあることを意味します。



- 5 **オプション** タイムラインの表示時間を切り替えると、確認したい日時が探しやすくなります。
  - タイムライン上でカーソルを置き、タイムラインをドラッグして特定の時間位置に移動します。また、タイムライン右の【<】をクリックすると以前の期間に、【>】をクリックすると次の期間にタイムラインが移動します。
  - タイムラインが青色でマークされた時間には動画が含まれます。赤色の時間は、その時間の動画がイベント関連ビデオであることを示します。
  - タイムライン上でスクロールすると、タイムラインの表示時間を切り替えられます。

## 3.3 イベント再生

動体検知、侵入検知、ライン横断検知情報を含むイベント関連ビデオの時間は、タイムラインを赤色で表示します。

### 設定方法

- ① [再生] に移動します。
- ② [イベント] をクリックします。
- ③ カメラリストからカメラをダブルクリックで選択します。



- ④ 再生する日付をカレンダーからダブルクリックで選択します。  
 ※日付の右上にある「▼」マークは、再生可能な録画データがあることを意味します。

### ☆ イベント再生時の設定項目

画面メニューに表示された [⚙️] をクリックすると、イベント再生時の再生方法を設定できます。






表示	設定項目	操作
通常のビデオをスキップ	※ <input checked="" type="checkbox"/> を入れるとオン	通常のビデオをスキップして、イベント関連ビデオだけを再生します。
通常のビデオ	× 1 / × 2 / × 4 / × 8 / × 16 / × 32 / × 64	「通常のビデオをスキップ」がオフの場合、バーの [○] を移動して通常のビデオの再生速度を変更できます。
イベント関連ビデオの再生速度	× 1 / × 2 / × 4 / × 8	「通常のビデオをスキップ」がオフの場合、バーの [○] を移動してイベント関連ビデオの再生速度を変更できます。

### 3.4 スライスデータの再生

年月・日時(時単位)・日時(分単位)のスライスデータリストを選んで再生できます。

#### 設定方法

- ① [再生] に移動します。
- ② [スライス] をクリックします。
- ③ カメラリストからカメラを選択します。
- ④ スライスデータの単位を選択します。
- ⑤ 表示されたリストをクリックまたは [▶] をクリックすると、画面右を表示します。

ボタン	名称
	再生 / 一時停止
	解像度を有効にする / 解像度を無効にする
	ミュート / 音声有効



## 3.5 クリップのバックアップ

再生中にクリップした動画は、USBストレージ (USB メモリー等) にエクスポート可能です。

※ 録画ファイルが再生しようとする PC のアプリに対応していない場合等は、エクスポートする際に [プレイヤー] を選択して再生アプリをエクスポートし、PC にインストールが可能です。

Ⓢ 「プレイヤー」を録画ファイル (映像とログ) と同時にエクスポートすることはできません。

### 開始前に

DVR に USB ストレージを接続してください。Ⓢ USB2.0 対応 最大 2TB まで

### 設定方法

- ① 再生を開始します。
- ② [🔗] をクリックします。
- ③ 「開始時間」と「終了時間」を設定します。
- ④ [保存] をクリックします。
- ⑤ USB ストレージとフォルダを選択して、[OK] をクリックします。
- ⑥ [保存] をクリックしてクリップを USB ストレージにエクスポートします。

## 3.6 バックアップファイルの再生

- USB ストレージに保存されているビデオを再生できます。
- DVR に USB ストレージを接続してください。

### 開始前に

DVR から動画ファイルがエクスポートされ、フォーマットが MP4 であることを確認してください。

### 設定方法

- ① USB ストレージを DVR に接続します。
- ② [外部ファイル] をクリックします。
- ③ 再生する動画ファイルの [▶] をクリック、または動画ファイルをダブルクリックします。



## 4.1 ファイルを選択してバックアップ

再生中にクリップした動画は、USBストレージ (USB メモリー等) にエクスポート可能です。

※ 録画ファイルが再生しようとする PC のアプリに対応していない場合等は、エクスポートする際に [プレイヤー] を選択して再生アプリをエクスポートし、PC にインストールが可能です。

④ 「プレイヤー」を録画ファイル (映像とログ) と同時にエクスポートすることはできません。

### 設定方法

- 1 [ 🔍 検索 ] に移動します。



- 2 検索タイプ (ビデオタイプ・開始終了時間・チャンネル) を選択する。
- 3 検索条件を設定します。
- 4 オプション [クイックバックアップ] をクリックすると、ビデオをデバイスに素早くエクスポートできます。
- 5 [検索] をクリックします。
- 6 ファイルを選択し、「エクスポート」をクリックして、USBストレージにファイルをエクスポートします。

## 4.2 クイックバックアップ

再生中にクリップした動画は、USBストレージ (USB メモリー等) にエクスポート可能です。

※ 録画ファイルが再生しようとする PC のアプリに対応していない場合等は、エクスポートする際に [プレイヤー] を選択して再生アプリをエクスポートし、PC にインストールが可能です。

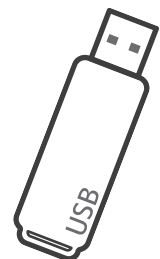
④ 「プレイヤー」を録画ファイル (映像とログ) と同時にエクスポートすることはできません。

### 開始前に

DVRにUSBストレージを接続します。④ USB2.0 対応 最大 2TB まで

### 設定方法

- 1 [ 🔍 検索 ] に移動します。
- 2 検索条件を設定します。
- 3 [クイックエクスポート] をクリックします。
- 4 USBストレージとパスを選択します。
- 5 [保存] をクリックすると、検索条件にあったファイルを検出します。
- 6 [バックアップ開始] をクリックすると、自動的にバックアップを行います。



# 設定・操作 【第5章 設定（イージーモード）】

イージー（簡易）モードは、基本的な項目が設定できます。  
設定画面左下の「← イージーモード」をクリックしてください。

通常は、このモードでの使用をおすすめします。

## 5.1 システム設定

### 設定方法

- 1 [設定] ⇒ [システム] ⇒ [全般] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。
- 3 適用をクリックします。

### 5.1.1 全般

#### ▼ 設定項目

設定項目	設定値	内容
システムの日付	(日付)	DVRの日付を設定します。
システム時間	(時刻)	DVRの時間を設定します。
解像度	1920*1080/60Hz (1080P) / 1280*1024/60Hz / 1280*720/60Hz (720P)	モニターへの出力解像度を選択できます。
パスワード不要のログイン	オン / オフ	オンの時は、アンロックパターンのみでログインできます。
ウィザード	オン / オフ	デバイス起動後にウィザードを表示します。
NTP 時刻同期	オン / オフ	オン / オフを切り替えれます。

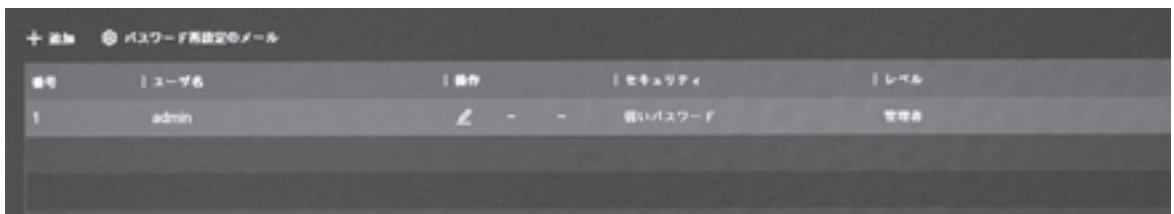


### 5.1.2 ユーザー

ログインできるユーザーを追加することができます。デフォルトの管理者ユーザー名は「admin」です。  
管理者はユーザーの追加、削除、編集の権限を持っています。  
ゲストユーザーはライブビュー、再生、ログ検索の権限のみを持っています。

### 設定方法

- 1 [設定] ⇒ [システム] ⇒ [ユーザー（ユーザー設定）] に移動します。
- 2 [ + 追加 ] をクリックし、管理者パスワードを入力してください。



- ユーザーを編集 / 削除するには、 / をクリックします。

- ③ ユーザー名を入力します。
- ④ 「パスワード作成」と「確認」に同じパスワードを入力します。

**警告** 製品のセキュリティを強化するため、ご自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字以上で、数字、大文字、小文字、特殊文字のいずれかを少なくとも 2 種類含む)を作成することを強く推奨します。また、セキュリティ強化のため、定期的なパスワード変更をおすすめします。

- ⑤ 実際の必要に応じて、「ローカル権限」、「リモート権限」、「カメラの権限」を設定してください。
- ⑥ [OK] をクリックしてください。



## パスワード再設定のメールを設定

ログインパターンとパスワードを忘れた場合、パスワード再設定用の確認コードを含むメールを送信します。

### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [システム] ⇨ [ユーザー] に移動します。
- ② [パスワード再設定のメール] をクリックします。
- ③ 認証のため管理者パスワードを入力してください。
- ④ メールアドレスを入力します。
- ⑤ [OK] をクリックします。



### 5.1.3 異常検知設定

様々な異常を検知した時のアクションを設定できます。

### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [システム] ⇨ [異常検知設定] に移動します。
- ② 設定項目を任意に設定します。

設定項目	設定値	内容	
イベントヒント	オン / オフ	ヒントを表示します。	
異常検知タイプ	(9 項目)	異常検知するエラー内容を選択できます。	
通常リンケージ	オン / オフ	[通常リンケージ] にチェックを入れると、3 つの設定項目すべてにチェックが入ります。3 つの設定項を個別に設定も可能です。	
	ブザーアラーム	オン / オフ	異常検知の際、アラームを鳴らします。
	監視センターに送信	オン / オフ	異常検知の際、監視センターに送信に情報を送信します。
	メール送信	オン / オフ	異常検知の際、設定したアドレスへメールを送信します。
アラーム出力	オン / オフ	異常検知の際、アラーム出力信号を発信します。	

- ③ [適用] をクリックします。

## 5.2 ネットワーク設定

遠隔操作をする前に、ネットワーク設定をしてください。

### 5.2.1 全般

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇒ [ネットワーク] ⇒ [全般] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。



設定項目	内容
DHCP(IPv4)	DHCP(IPv4) 自動取得のオン / オフを切り替えできます。
IPv4 アドレス	※ 「DHCP(IPv4)」 がオフの時に編集できます。
IPv4 サブネットマスク	※ 「DHCP(IPv4)」 がオフの時に編集できます。
IPv4 デフォルトゲートウェイ	※ 「DHCP(IPv4)」 がオフの時に編集できます。
DNS の自動取得	DNS の自動取得のオン / オフを切り替えできます。
優先 DNS サーバ	※ 「DHCP(IPv4)」 がオフの時に編集できます。
代替 DNS サーバ	※ 「DHCP(IPv4)」 がオフの時に編集できます。

- 3 [適用] をクリックします。

### 5.2.2 Guarding Vision

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇒ [ネットワーク] ⇒ [Guarding Vision] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。



設定項目	内容
タイプ	⑤ [Guarding Vision] にのみ対応
有効化	Guarding Vision を有効化できます。 ⑤有効にする際は、「サービス利用規約」に同意してください。
接続ステータス	インターネットへの接続状況を表示します。
バインディングステータス	特定の Guarding Vision アカウントに紐付け（バインディング）されているかどうかを示す状態です。
プラットフォームの時刻同期	プラットフォームから時刻同期 する / しない を選択できます。
ストリーム暗号化	ストリームを暗号化して通信 する / しない を選択できます。
サブストリームの自動調整ビットレート	サブストリームのビットレートを自動調整 する / しない を選択できます。
サーバー IP	サーバーの IP アドレスを表示します。
検証コード	から、検証コードを変更できます。
(QR コード)	QR コードから、アプリ版 Guarding Vision を入手できます。

- 3 [適用] をクリックします。

## 5.2.3 電子メール

### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [ネットワーク] ⇨ [電子メール] に移動します。
- ② 設定項目を任意に設定します。

設定項目	内容
メールタイプ	「Outlook」または「その他」を選択できます。 ④ 「Outlook」選択の際は、画面の指示に従って設定してください。
サーバ認証	サーバ認証 する / しない を選択できます。
ユーザー名	メールのユーザー名を入力します。
パスワード	メールのパスワードを入力します。
SMTPサーバ	「Gmail」、「Yahoo」を選択すると、下の「SMTPサーバ」項目に自動的にそれぞれのSMTPサーバが入力されます。「Gmail」、「Yahoo」以外のSMTPサーバを使用する場合は、「Custom」を選択します
SMTPサーバ	SMTPサーバを入力できます。
SMTPポート	ポート番号を入力できます。
SSL/TLS	SSL/TLSのオン/オフを選択します。
添付画像	添付画像の有無を選択できます。
差出人	差出人名を入力できます。
差出人アドレス	差出人アドレスを入力できます。
宛先の選択	送信先を3件まで登録できます。
宛先	宛先の名称を入力できます。
宛先アドレス	宛先のメールアドレスを入力します。
テスト	有効なメール設定になっているかどうかを確認できます。

- ③ [適用] をクリックします。

## 5.3 カメラ設定

### 5.3.1 アナログ - カメラマイク設定

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [カメラ] ⇨ [アナログ] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。



設定項目	設定値	内容
カメラマイク有効化	オン / オフ	カメラマイク音声信号のオン / オフを切り替えできます。

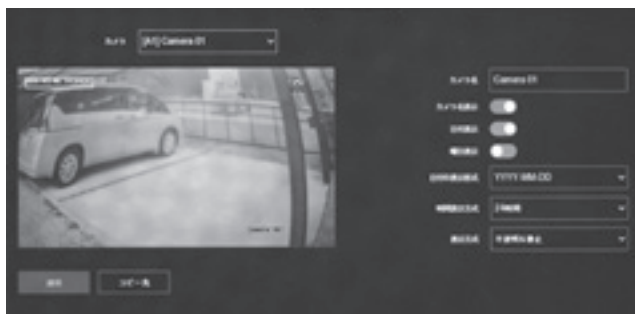
- 3 [適用] をクリックします。

### 5.3.2 OSD

カメラ映像を確認しながら、カメラ名、日付、曜日の表示形式を変更できます。

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [カメラ] ⇨ [OSD (表示)] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。



設定項目	設定値	内容
カメラ	A1 ~ A4	設定変更するカメラを選択します。
カメラ名	(任意)	カメラ名を変更できます。
カメラ名表示	オン / オフ	表示する / 表示しないを変更できます。
日付表示	オン / オフ	表示する / 表示しないを変更できます。
曜日表示	オン / オフ	表示する / 表示しないを変更できます。
日付の表示形式	(3 形式)	日付の表示形式を選択できます。
時間表示方式	24 時間 / 12 時間	時間の表示形式を選択できます。
表示方式	透明&点滅 / 透明&静止 / 不透明&点滅 / 不透明&静止	画面に表示する際の表示方式を選択できます。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択しているカメラの変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 Ⓧ「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

- 3 [適用] をクリックします。

### 5.3.3 動体

カメラ映像内の動きを検知する（動体検知）機能の設定ができます。

カメラ映像を確認しながら、動体検知機能のエリア、アラームスケジュール、リンケージアクションを変更します。

#### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [カメラ] ⇨ [動体] に移動します。
- ② 設定項目（エリア）を任意に設定します。



設定項目	設定値	内容
カメラ	A1 ~ A4	設定変更するカメラを選択します。
有効化	オン / オフ	動体検知機能を有効化できます。
感度	0 / 20 / 40 / 60 / 80 / 100	検知する感度を変更できます。
フォールアラームフィルタ	人物 車両	検出対象を「人」または「車両」に設定すると、人物または車両以外による検出を除外できます。
エリア描画	(ポイント×10点)	検知するエリアを10点のポイントで囲んで設定できます。「エリア描画」をクリックした後に、ポイントはカメラ映像内をクリックする毎に設定できます。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択しているカメラの変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 Ⓢ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

③ 設定項目(アラームスケジュール)を任意に設定します。

▼ 編集ウィンドウ



設定項目	設定値	内容
カメラ	A1 ~ A4	設定変更するカメラを選択します。
有効化	オン / オフ	アラームスケジュール機能オン / オフを切り替えできます。
警戒		「警戒」をクリックした後に、タイムラインをクリックまたは選択範囲を囲むと、動体検知を行う時間帯に変更できます。
消去		「消去」をクリックした後に、タイムラインをクリックまたは選択範囲を囲むと、動体検知を行わない時間帯に変更できます。
編集		クリックすると編集ウィンドウが開き、曜日・開始時間・終了時間でスケジュールを指定できます。
すべてクリア		クリックすると、タイムラインの選択をすべて消去します。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択しているカメラの変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 ④ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

☆ 「編集ウィンドウ」設定項目

設定項目	設定値	内容
曜日	月～日	設定変更する曜日を選択します。
開始 / 終了時間	00:00 ~ 24:00	動体検知を行う時間を分単位で設定できます。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択している変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 ④ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

④ 設定項目 (リンケージアクション) を任意に設定します。



設定項目	設定値	内容
カメラ	A1 ~ A4	設定変更するカメラを選択します。
通常リンケージ	オン / オフ	動体検知時のアクションのオン / オフを切り替えできます。「通常リンケージ」にチェックを入れると、下の4つの設定項目すべてにチェックが入ります。4つの設定項を個別に設定も可能です。
アラームポップアップウィンドウ	オン / オフ	検知の際、アラーム発生チャンネルの画像を表示します。トリガーチャンネルでアラーム発生チャンネルを選択しておく必要があります。
ブザーアラーム	オン / オフ	動体検知の際、ブザーを鳴らします。
監視センターに送信	オン / オフ	イベント発生時にリモートアラームホストへ異常検知または警報信号を送信できます。
メール送信	オン / オフ	動体検知の際、設定したアドレスへメールを送信します。
トリガーチャンネル	(A1 ~ A4)	アラーム発生時に画像を表示するカメラチャンネルを選択できます。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択しているカメラの変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 Ⓢ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

⑤ [適用] をクリックします。

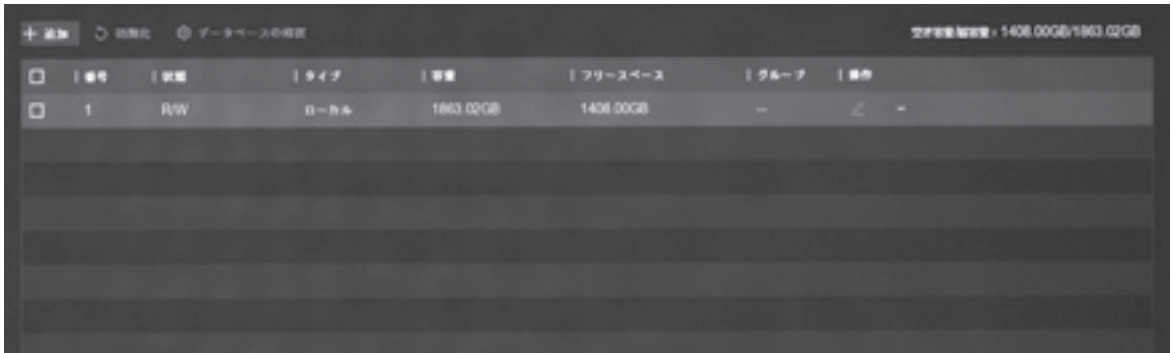
## 5.4 録画設定

レコーダーのストレージ、録画する際のスケジュール、パラメータを変更できます。

### 5.4.1 ストレージ

#### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [録画] ⇨ [ストレージ] に移動します。
- ② 設定項目を任意に設定します。



設定項目	内容
追加	Ⓢ 本機では使用しません。
初期化	HDD 上のすべてのデータが消去されます。 Ⓢ <input type="checkbox"/> に ✓ に入れてから、「初期化」をクリックしてください。
データベースの修復	HDD のデータベースエラーを修復します。 Ⓢ 専門の技術者が操作してください。 Ⓢ <input type="checkbox"/> に ✓ に入れてから、「初期化」をクリックしてください。

- ③ [適用] をクリックします。

## 5.4.2 スケジュール

### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [録画] ⇨ [スケジュール] に移動します。
- ② 設定項目を任意に設定します。



設定項目	設定値	内容
カメラ	A1 ~ A4	設定変更するカメラを選択します。
有効化	オン / オフ	スケジュール機能を有効化できます。
スケジュール録画		日時を指定して連続録画します。 [スケジュール録画] をクリックした後に、タイムラインをクリックまたは選択範囲を囲むと、録画する時間帯を変更できます。
イベント		設定した時間帯のイベント (動体を検知など) 発生時に録画します。 [イベント] をクリックした後に、タイムラインをクリックまたは選択範囲を囲むと、イベント録画する時間帯を変更できます。
消去		[消去] をクリックした後に、タイムラインをクリックまたは選択範囲を囲むと、動体検知を行わない時間帯に変更できます。
編集		クリックすると編集ウィンドウが開きます。➡ P.35 参照
すべてクリア		クリックすると、タイムラインの選択をすべて消去します。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択しているカメラの変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 ④ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

- ③ [適用] をクリックします。

## ▼ 「編集」 ウィンドウ設定項目



設定項目	設定値	内容
曜日	月～日	設定変更する曜日を選択します。
終日	オン / オフ	終日を選択する時は、オンにします。
開始 / 終了時間	00:00 ~ 24:00	動体検知を行う時間を分単位で設定できます。
(録画開始設定)	スケジュール録画	設定した日時で連続録画します。
	イベント	設定した時間帯のイベント(動体を検知など)発生時に録画します。
コピー先	アナログ / A1 ~ A4	選択している変更内容を、「コピー先」で選択したカメラも含めて設定します。 ⑤ 「アナログ」をクリックすると、すべてのカメラを選択します。

### 5.4.3 パラメータ

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [録画] ⇨ [パラメータ] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。



メインストリーム	メインストリームとは、HDD に記録されるデータに影響を与える主要なストリームを指し、動画の品質と画像サイズを直接決定します。サブストリームと比較して、メインストリームはより高い解像度とフレームレートで高品質な動画を提供します。
サブストリーム	サブストリームはメインストリームと並行して動作する第二のコーデックです。これにより、直接の録画品質を損なうことなく、送信インターネット帯域幅を削減できます。サブストリームはライブ動画視聴においてスマートフォンアプリケーションで専ら使用されることが多く、インターネット速度に制限のあるユーザーはこの設定から最も恩恵を受ける可能性があります。
フレームレート	フレームレートとは、1 秒間にキャプチャされるフレーム数を指します。動画ストリームに動きがある場合、フレームレートが高いほど画質が維持されます。
解像度	画像解像度は、デジタル画像が保持できる詳細度の尺度です。解像度が高いほど、詳細レベルも高くなります。解像度は、ピクセル列数(幅)×ピクセル行数(高さ)で指定できます(例: 1024×768)。
ビットレート	ビットレート(Kbit/s または Mbit/s) は速度と呼ばれることが多いですが、実際には時間単位あたりのビット数を定義するものであり、距離 / 時間単位ではありません。
H.264+ を有効にする / H.265+ を有効にする	H.264+/H.265+ モードは、低ビットレートで高画質を確保するのに役立ちます。帯域幅と HDD ストレージ容量の必要性を効果的に削減できます。
低ビットレートモードを有効にする	デバイスの帯域幅やメモリを節約するため、ネットワーク状況に応じてカメラのメインストリームビットレートを自動的に調整します。

- 3 [適用] をクリックします。

設定画面左下の「**今 エキスパートモード**」をクリックします。

## 6.1 システム設定

### 6.1.1 全般

DVRシステムの基本的な設定ができます。

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [システム] ⇨ [全般] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。
- 3 [適用] をクリックします。

#### ☆ 設定項目



設定項目		内容
基本設計	VGA/HDMI 解像度	出力解像度を選択できます。
	ビデオ画質モード	画質の設定を切り替えられます。
	マウス速度	マウスポインタの移動速度を設定できます。
	パスワード不要のログイン	オンの時は、アンロックパターンのみでログインできます。
	ウィザード	DVR 起動後にウィザードを表示します。
地域と時間設定	地域	国を選択できます。
	言語	DVR の言語を選択できます。
	タイムゾーン	DVR のタイムゾーンを選択できます。
	日付の表示形式	日付の表示形式を選択できます。
	システムの日付	DVR の日付を設定します。
	システム時間	DVR の時間を設定します。
追加設定	デバイス名	DVR の名前を編集します。
	デバイス No.	この番号は、リモートコントロールやネットワークキーボードなどの接続時に必要です。DVR のシリアル番号を編集できます。デバイス番号の範囲は 1 から 255 までで、デフォルト値は 255 です。
	ログ画面	画面ロックのタイムアウト時間を設定します。
	メニュー出力モード	ローカルメニューを表示する出力を選択します。
	1080P ライトモード	有効にすると、最大数のカメラに接続できますが、2K/4K 出力解像度が無効になり、アナログチャンネルでは周辺保護、人物または車両の動体検知などの機能が利用できなくなります。 Ⓢ通常は、オフのままの使用をおすすめします。

## 6.1.2 ライブ表示

ライブビュー画面の設定ができます。

### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [システム] ⇨ [ライブ表示] に移動します。
- ② 設定項目を任意に設定します。
- ③ [適用] をクリックします。

### ☆ 設定項目



	設定項目	内容
全般	出力インターフェイス	㊦ 本機では変更できません。
	ウィンドウ分割	画面のウィンドウ分割を切り替えできます。
	自動切り替え間隔	ライブビュー画面を自動切替する際の間隔を選択できます。
	アラームポップアップ出力	イベント動画を表示する際の出力を選択します。
	アラームポップアップ遅延	アラームイベント画像を表示する時間を秒単位で設定できます。 ㊦ 複数のチャンネルで同時にアラームが検出された場合、それらの全画面画像は 10 秒間隔 (デフォルトの滞留時間) で切り替わります。
	オーディオ	アラームが検出された時に可聴ビープ音を鳴らすことができます。
	音量	可聴ビープ音量を 0 ~ 5 の間で切り替えできます。
表示	出力インターフェイス	㊦ 本機では変更できません。
	(分割画面)	分割画面でカメラを表示する画面の場所を変更できます。
チャンネルゼロ	有効化	チャンネルゼロを有効化できます。
	フレームレート	フレームレートとは、1 秒間にキャプチャされるフレーム数を指します。動画ストリームに動きがある場合、フレームレートが高いほど画質が維持されます。
	最大ビットレート方式	ビットレート (Kbit/s または Mbit/s) は速度と呼ばれることが多いですが、実際には時間単位あたりのビット数を定義するものであり、距離 / 時間単位ではありません。
	最大ビットレート (Kbps)	最大ビットレートを切り替えできます。

#### ◆ アラームポップアップウィンドウの設定について

アラームがトリガーされると、ローカルモニターは、フルスクリーン監視用に設定されたアラーム発生チャンネルのビデオ画像をフルスクリーンで表示します。また、複数のチャンネルで同時にアラームがトリガーされた場合、自動切り替えの滞留時間を設定する必要があります。

#### ◆ チャンネルゼロの設定について

Web ブラウザなどから、多くのチャンネルをリアルタイムでリモート表示する必要がある場合に、画質に影響を与えずに帯域幅の要件を削減するために、チャンネルゼロエンコーディングを有効にします。

## 6.1.3 ユーザー設定

☆ イージーモード **5.1.2** ユーザー P.25 をご参照ください。

## 6.2 ネットワーク設定

### 6.2.1 全般

遠隔操作で DVR を操作する前に、ネットワークの設定をしてください。

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇒ [ネットワーク] ⇒ [全般] に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。
- 3 [適用] をクリックします。



#### ☆ 設定項目

設定項目		内容	
TCP / IP	NIC選択	Ⓢ変更できません。	
	NICタイプ	Ⓢ通常は、「10M/100M 自己適応型」を選択します。	
	IPv4 / IPv6	「IPv4」または「IPv6」を選択できます。	
	※ IPv4 選択時	DHCP(IPv4)	DHCP(IPv4) 自動取得のオン / オフを切り替えられます。
		IPv4 アドレス	※ 「DHCP(IPv4)」がオフの時に編集できます。
		IPv4 Subnet マスク	※ 「DHCP(IPv4)」がオフの時に編集できます。
		IPv4 デフォルトゲートウェイ	※ 「DHCP(IPv4)」がオフの時に編集できます。
	※ IPv6 選択時	IPv6 モード	DHCP(IPv6) 自動取得のオン / オフを切り替えられます。
		ルートを表示	※ 「DHCP(IPv6)」がオフの時に編集できます。
		IPv6 アドレス	※ 「DHCP(IPv6)」がオフの時に編集できます。
		IPv6 サブネットプレフィックス長	※ 「DHCP(IPv6)」がオフの時に編集できます。
		IPv6 デフォルトゲートウェイ	※ 「DHCP(IPv6)」がオフの時に編集できます。
	MAC アドレス	DVR の MAC アドレスを表示します。	
	MTU (Bytes)	MTU を入力できます。	
	デフォルトルート	Ⓢ変更できません。	
DNS の自動取得	DNS の自動取得のオン / オフを切り替えられます。		
優先 DNS サーバ	※ 「DHCP(IPv4)」がオフの時に編集できます。		
代替 DNS サーバ	※ 「DHCP(IPv4)」がオフの時に編集できます。		

D D N S	有効化	DDNS を有効化できます。
	DDNSタイプ	「DynDNS」または「NO-IP」を選択できます。
	サーバアドレス	サーバアドレスを入力できます。
	デバイスドメインネーム	デバイスドメインネームを入力できます。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	パスワード	パスワードを入力します。
P P P O E	有効化	PPPoE を有効化できます。
	動的 IP	Ⓢ変更できません。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	パスワード	パスワードを入力します。
N A T	有効化	NAT を有効化できます。
	マップされたタイプ	手動 / 自動を切り替えられます。
	タイプ	※ 「マップされたタイプ」が手動の時に編集できます。
N T P	有効化	NTP を有効化できます。 Ⓢ有効化するとプラットフォームの時刻同期機能が無効になります。
	間隔 (分)	※ 「有効化」がオンの時に編集できます。
	NTP サーバ	※ 「有効化」がオンの時に編集できます。
	NTP サーバポート	※ 「有効化」がオンの時に編集できます。
ロ グ サ ー バ 設 定	有効化	ログサーバ設定を有効化できます。
	アップロードタイプの間隔 (時間)	アップロードタイプの間隔を入力します。
	サーバ IP アドレス	サーバ IP アドレスを入力します。
	ポート	ポートを入力します。
追 加 設 定	アラームホスト IP	アラームが発生時、アラームイベントまたは異常検知メッセージをアラームホストに送信します。リモートアラームホストにはクライアント管理システム (CMS) ソフトウェアがインストールされている必要があります。
	アラームホストポート	
	サーバポート	サーバポートを入力できます。
	HTTP ポート	HTTP ポートを入力できます。
	マルチキャスト IP	マルチキャスト IP を入力できます。
	RTSP ポート	RTSP ポートを入力できます。
	拡張 SDK サービスポート	拡張 SDK サービスポートを入力できます。
	出力帯域幅の制限値	チェックを入れると「出力帯域幅」が入力できます。
	出力帯域幅 (Mbps)	出力帯域幅 (Mbps) を入力できます。
IP アドレス自動適応	IP アドレス自動適応のオン / オフを切り替えられます。	

## 6.2.2 プラットホームへのアクセス

☆イーザーモード **5.2.2** Guarding Vision P.27 をご参照ください。

## 6.2.3 電子メール

☆イーザーモード **5.2.3** 電子メール P.28 をご参照ください。

## 6.3 カメラ設定

### 6.3.1 アナログ - カメラマイク設定

☆イーザーモード **5.3.1** アナログ - カメラマイク設定 P.29 をご参照ください。

### 6.3.2 表示

OSD (オンスクリーンディスプレイ)、画像設定、露出設定、昼 / 夜切り替え設定などを設定できます。

#### 設定方法

- 1 【設定】 ⇨ 【カメラ】 ⇨ 【表示】 に移動します。
- 2 設定項目を任意に設定します。
- 3 【適用】 をクリックします。
- 4 プレビューウィンドウ上のテキストフレームをドラッグして OSD の位置を調整します。



	設定項目	内容
OSD 設定	カメラ名表示	表示する / 表示しない を変更できます。
	曜日表示	表示する / 表示しない を変更できます。
	曜日の表示形式	表示する / 表示しない を変更できます。
	日付の表示形式	日付の表示形式を選択できます。
	時間表示方式	時間の表示形式 (24 時間 / 12 時間) を選択できます。
	表示方式	画面に表示する際の表示方式を選択できます。

画像調整	モード	標準 / 屋内 / 低光 / 屋外 を変更できます。
	輝度	0 ~ 255 の間で調整できます。
	コントラスト	0 ~ 255 の間で調整できます。
	彩度	0 ~ 255 の間で調整できます。
	色彩	0 ~ 255 の間で調整できます。
	明度	0 ~ 15 の間で調整できます。
	ノイズ除去	0 ~ 5 の間で調整できます。
カメラ設定	昼から夜の照度	1 ~ 9 の間で調整できます。
	夜から昼の照度	1 ~ 9 の間で調整できます。
	昼 / 夜モード	自動 / カラー / 黒白 を変更できます。

- ⑤ [適用] をクリックします。

### 6.3.3 プライバシーマスク

表示または録画できないプライバシーマスク領域を設定することができます。

#### ☀️ 設定方法

- ① [設定] ⇨ [カメラ] ⇨ [プライバシーマスク] に移動します。



- ② カメラを選択します。
- ③ 有効化をオンにします。
- ④ ウィンドウ上で領域をドラッグして描画します。領域の枠は異なる色でマークされます。  
 Ⓢ 最大4つのプライバシーマスク領域を設定できます。各領域のサイズは、マウスで調整可能です。
- ⑤ [適用] をクリックします。

## 6.4 イベント設定

### 6.4.1 通常イベント

#### ▼ 「動体検知録画」設定項目

☆イージーモード **5.3.3** カメラ-動体 P.30 をご参照ください。

参考：アラームスケジュール、リンケージアクション設定

#### ▼ 「ビデオ干渉」設定

カメラの映像が電波障害などを受けた場合に警報対応アクションを実行します。

##### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [イベント] ⇨ [通常イベント] ⇨ [イベント干渉] に移動します。
- ② カメラを選択します。
- ③ 有効化をオンにする。
- ④ 設定項目(エリア / アラームスケジュール / リンケージアクション)を任意に設定します。
- ⑤ [適用] をクリックします。



#### ▼ 「ビデオロス」設定

カメラの映像消失を検知し、警報対応アクションを実行します。

##### 設定方法

- ① [設定] ⇨ [イベント] ⇨ [通常イベント] ⇨ [ビデオロス] に移動します。
- ② カメラを選択します。
- ③ 有効化をオンにする。
- ④ 設定項目(アラームスケジュール / リンケージアクション)を任意に設定します。
- ⑤ [適用] をクリックします。



## ▼ 「アラーム入力」設定

③本機では使用できません。

## ▼ 「アラーム出力」設定

③本機では使用できません。

## ▼ 「異常検知設定」設定




異常検知設定をすると、ライブビューウィンドウのイベントヒントを取得し、警報出力や連動動作をすることができます。

### 設定方法

① [設定] ⇨ [イベント] ⇨ [通常イベント] ⇨ [異常検知設定] に移動します。

② イベントヒントを有効にします。  
イベントが発生すると、アラームセンターでヒントを受け取ります。

③ ヒントを表示するイベントを選択してください。  
以下の選択肢から選択してください。

- イベントヒント設定 [  ] をクリックしてウィンドウを開いてイベントを選択し、OK をクリックします。
- システムメニューの「 アラームと異常⇨異常検知設定⇨ [  ] をクリックしてイベントを選択します。

④ 異常検知タイプを選択し、その連動アクションを設定します。

⑤ [適用] をクリックします。



## 6.4.2 境界保護

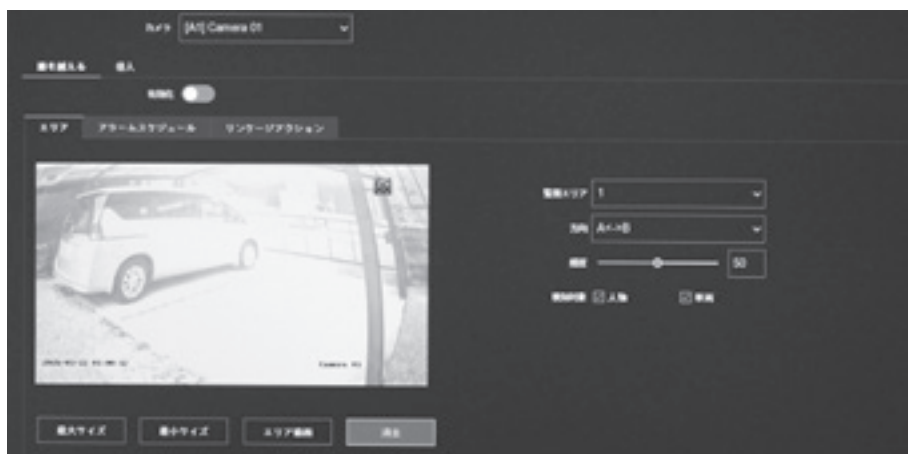
境界保護には、「線を越える」、「侵入」の検知設定ができます。

### ▼「線を越える」設定

線を越える検知機能は、設定された仮想ラインを越える人物、車両、物体を検出します。検出方向は双方向、左から右、または右から左に設定できます。

#### 設定方法

① [設定] ⇨ [イベント] ⇨ [境界保護] ⇨ [線を越える] へ移動します。



② カメラを選択します。

③ 有効化をオンにします。

④ 検知ルールと検知エリアを設定します。

1) [エリア描画] をクリックし、検出する線ををを描画します。

2) 検知する方向を「A<->B」、「A->B」、または「A<-B」に設定します。

A<->B	設定された線を両方向から横切る物体を検知し、警報を発動できます。
A->B	設定されたラインを A 側から B 側へ横切る物体のみ検知可能。
B<-A	設定されたラインを B 側から A 側へ横切る物体のみ検知可能。

3) 最大サイズをクリックし、プレビューウィンドウに四角形を描画して、ターゲットの最大描画領域サイズを設定します。

4) 最小サイズをクリックし、プレビューウィンドウで四角形を描画してターゲットの最小描画領域サイズを設定します。

5) 検出対象を「人」または「車両」に設定すると、人物または車両以外による検出を除外できます。

⑤ 感度を調整します。感度を調整することで、動きがアラームを検出する容易さを調整できます。値が高いほど、動き検出がより容易にトリガーされます。

⑥ オプション 検出対象を「人」または「車両」に設定すると、人または車両以外による検出を除外できます。

⑦ アラームスケジュールを設定します。

⑧ リンケージアクションを設定します。

⑨ [適用] をクリックします。

## ▼「侵入」設定

侵入検知機能は、あらかじめ定義された仮想領域に侵入し、その領域内でうろつく人物、車両、または物体を検知します。

### 🔦 設定方法

① [設定] ⇨ [イベント] ⇨ [境界保護] ⇨ [侵入] へ移動します。



② 設定するカメラを選択します。

③ 有効化をオンにします。

④ 検知ルールと検知エリアを設定します。

1) [エリア描画] をクリックし、10 の頂点を指定して、プレビューウィンドウに警戒エリアを描画します。

2) 「時間しきい値」と「感度」を調整します。

① (時間しきい) 値	範囲 [1 秒～ 10 秒]。対象物が領域内に滞留する時間の閾値。定義された検知エリア内での対象物の滞留時間が設定時間を超えると、警報が作動します。
感度	アラームをトリガーできるオブジェクトのサイズ。値が高いほど、検知アラームが容易にトリガーされます。範囲は [1-100] です。

3) 最大サイズをクリックし、プレビューウィンドウで四角形を描画して、ターゲットの最大描画領域サイズを設定します。

4) 最小サイズをクリックし、プレビューウィンドウで四角形を描画して、ターゲットの最小描画領域サイズを設定します。

5) 検出対象を「人」または「車両」に設定すると、人物または車両以外による検出を除外できます。

⑤ オプション 検出対象を「人」または「車両」に設定すると、人または車両以外による検出を除外できます。

⑥ アラームスケジュールを設定します。

⑦ リンケージアクションを設定します。

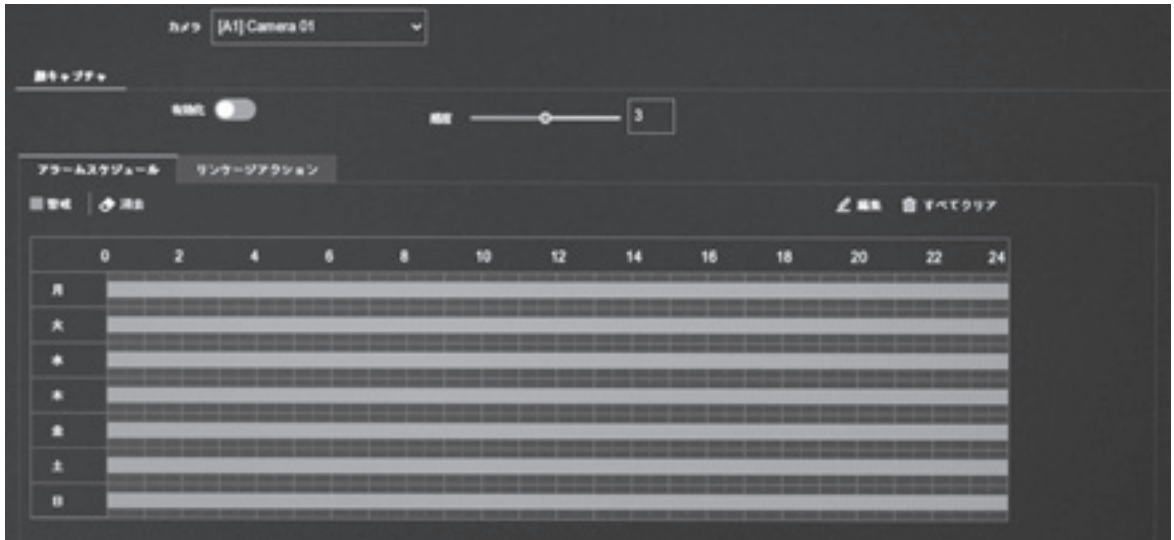
⑧ [適用] をクリックします。

## 6.4.3 顔認識

顔検出は、映像内に現れる人間の顔を検出します。  
人間の顔が検出されると、連動動作をトリガーできます。

### 設定方法

① [設定] ⇒ [イベント] ⇒ [顔認識] へ移動します。



- ② カメラを設定します。
- ③ 有効化をオンにします。
- ④ 感度を調整します。  
値が高いほど、ピントが合っていない画像でも警報が作動しやすくなります。
- ⑤ アラームスケジュールを設定します。
- ⑥ リンケージアクションを設定します。
- ⑦ [適用] をクリックします。

## 6.5 録画設定

### 6.5.1 スケジュール

☆イージーモード **5.4.2** スケジュール P.34 をご参照ください。

### 6.5.2 パラメータ

記録する映像の詳細設定ができます。

#### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [録画] ⇨ [パラメータ] へ移動します。
- 2 カメラのメインストリームおよびサブストリームのパラメータを設定します。
- 3 [適用] をクリックします。



メインストリーム	メインストリームとは、HDDに記録されるデータに影響を与える主要なストリームを指し、動画の品質と画像サイズを直接決定します。サブストリームと比較して、メインストリームはより高い解像度とフレームレートで高品質な動画を提供します。
サブストリーム	サブストリームはメインストリームと並行して動作する第二のコーデックです。これにより、直接録画品質を損なうことなく、インターネット送信帯域幅を削減できます。サブストリームはライブ動画視聴用のスマートフォンアプリで主に使用されます。インターネット速度が制限されているユーザーはこの設定から最も恩恵を受けられます。
解像度	画像解像度は、デジタル画像が保持できる詳細度の尺度です。解像度が高いほど、詳細度も高くなります。解像度は、ピクセル列数(幅)×ピクセル行数(高さ)で指定できます。例えば、1024×768などです。
フレームレート	フレームレートとは、1秒間にキャプチャされるフレーム数を指します。動画ストリームに動きがある場合、フレームレートが高いほど画質が維持されるため有利です。
ビットレート	ビットレート(Kbit/s または Mbit/s) は速度と呼ばれることが多いですが、実際には時間単位あたりのビット数を定義するものであり、距離/時間単位ではありません。
H.264+ を有効にする / H.265+ を有効にする	H.264+/H.265+ モードは、低ビットレートで高画質を確保するのに役立ちます。帯域幅と HDD ストレージ容量の必要性を効果的に削減できます。

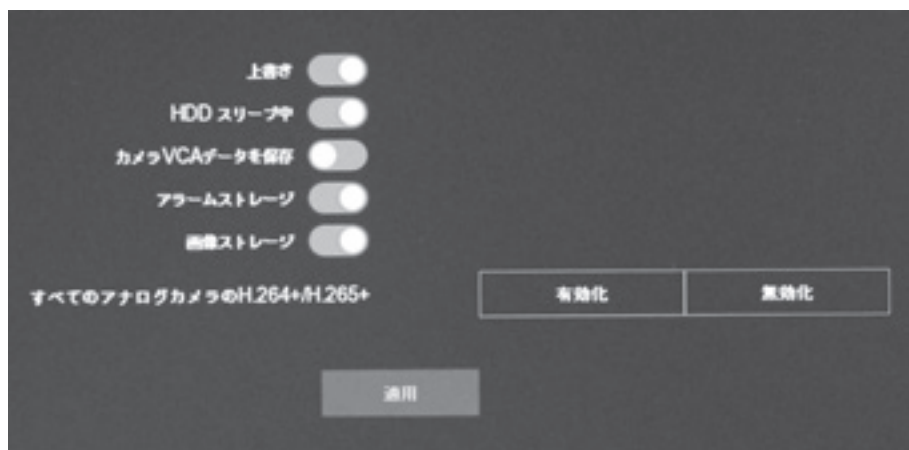
## 6.5.3 ストレージ

☆イージーモード **5.4.1** ストレージ P.33 をご参照ください。

## 6.5.4 詳細設定

### 設定方法

- 1 [設定] ⇨ [録画] ⇨ [詳細設定] へ移動します。
- 2 パラメータを任意に設定します。



設定項目	内容
上書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無効化：HDDが満杯になると、DVRは書き込みを停止します。</li> <li>●有効化：HDDが満杯の場合、ビデオ録画は最も古いファイルを削除して新しいファイルの書き込みを継続します。</li> </ul>
HDDスリープ中	長時間動作していない HDD はスリープ状態になります。
カメラVCAデータを保存	カメラのVCAデータを保存し、検索できるようにします。 ③ カメラVCAデータの保存を無効にすると、既存のデュアルVCAおよび動き検知情報が削除され、デュアルVCAおよび動き検知情報の分析と保存が停止します。
アラームストレージ	HDDの空き容量が不足している場合は、この機能を無効にして容量を節約できますが、DVRはアラーム情報の保存を停止します。
画像ストレージ	HDDの空き容量が不足している場合は、この機能を無効にして容量を節約できますが、DVRは画像の保存を停止します。
すべてのアナログカメラのH.264 + H.265 +	すべてのアナログカメラの H.264 + H.265 + を有効化 / 無効化できます。

- 3 [適用] をクリックします。

## 7.1 デフォルト設定への復元

### 設定方法

- ① システムメニューの [①] をクリックします。
- ② 復元タイプを選択してください。



シンプルリストア	ネットワーク (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MTU、NIC 動作モード、デフォルトルート、サーバーポートなど) およびユーザーアカウントパラメータを除く、すべてのパラメータを工場出荷時のデフォルト設定に復元します。
出荷状態回復	すべてのパラメータを工場出荷時のデフォルト設定に復元します。
非アクティブ状態に復元	DVR を非アクティブ状態に復元すると、ユーザーアカウントの復元を除き、すべての設定を変更せずに残します。

- ③ [はい] をクリックします。DVR は自動的に再起動します。

## 7.2 ログ情報

DVR の操作、アラーム、異常検知、および情報はログに保存され、いつでも閲覧およびエクスポートが可能です。

### 設定方法

- ① システムメニューの [①] をクリックします。
- ② [詳細] をクリックします。
- ③ [ログ情報] をクリックします。
- ④ 検索条件を設定します。



- ⑤ 検索をクリックします。

## 7.3 システムサービス

### 設定方法

- ① システムメニューの「**i**」をクリックします。
- ② 「詳細」をクリックします。
- ③ システムサービスををクリックします。
- ④ お好みのパラメータを設定してください。



RTSP	RTSP認証を設定することで、ライブビューのストリームデータを特に保護することができます。
RTSP 認証	2種類の認証方式が選択可能です。ダイジェスト認証を選択した場合、ダイジェスト認証を使用したリクエストのみが、IPアドレス経由で RTSP プロトコルによるビデオストリームにアクセスできます。セキュリティ上の理由から、認証方式としてダイジェストを選択することを推奨します。
ISAPI	ISAPI (Internet Server Application Programming Interface) は HTTP を基盤としたオープンプロトコルであり、システムデバイス間 (例: ネットワークカメラ、NVR など) の通信を実現します。DVR をサーバーとして使用することで、システムは DVR を検出し接続できます。
HTTP	管理者ユーザーアカウントは、GUI または Web ブラウザから HTTP サービスを無効化できます。HTTP が無効化されると、ISAPI や ONVIF を含む関連サービスもすべて終了します。
HTTP 認証	HTTP サービスを有効にする必要がある場合、アクセスセキュリティを強化するために HTTP 認証を設定できます。2種類の認証タイプから選択可能です。セキュリティ上の理由から、認証タイプとしてダイジェスト認証を選択することを推奨します。
カメラ追加検知	この機能はネットワークカメラの状態を検出します。ネットワークカメラが別のレコーダー等によって追加されている場合、オンラインデバイス一覧ではネットワークカメラの状態が「 <b>!</b> 」と表示されます。

- ⑤ 適用をクリックします。

## 7.4 ブザースイッチ

アラーム連動または異常検知連動でブザーを有効または無効にすることができます。

### 設定方法

- ① システムメニューの「**i**」をクリックします。
- ② 「詳細」をクリックします。
- ③ ブザースイッチに移動します。
- ④ 有効化をオンまたはオフにします。



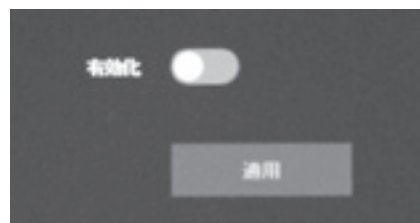
## 7.5 デバイスのメンテナンス

### 7.5.1 再起動のスケジュール

スケジュールに従ってデバイスが自動的に再起動します。

#### 設定方法

- ① システムメニューの [ ⓘ ] をクリックします。
- ② [詳細] をクリックします。
- ③ 「デバイスメンテナンス」 ⇒ 「スケジュール再起動を有効にする」に進みます。
- ④ 「有効にする」をオンにします。
- ⑤ 再起動スケジュールを設定します。
- ⑥ 適用をクリックします。



### 7.5.2 デバイス状態

選択したカメラをミュートできます。

#### 設定方法

- ① システムメニューの [ ⓘ ] をクリックします。
- ② [詳細] をクリックします。
- ③ 「デバイスメンテナンス」 ⇒ 「デバイスステータス」に移動します。
- ④ 「ミュートおよび応答不可」の欄で、対応するチャンネルをチェックします。

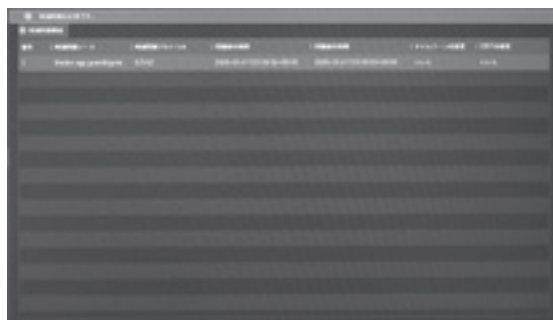


### 7.5.3 時刻同期診断

時刻同期異常の検知を有効化できます。

#### 設定方法

- ① システムメニューの [ ⓘ ] をクリックします。
- ② [詳細] をクリックします。
- ③ 「デバイスメンテナンス」 ⇒ 「時刻同時診断」に移動します。
- ④ [時刻同期構成] をクリックして、設定を変更します。

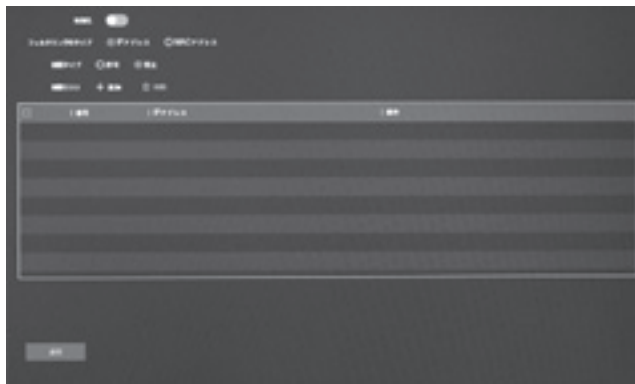


## 7.5.4 アドレスフィルタ

DVR にアクセスできないアドレスを設定できます。

### ☞ 設定方法

- ① システムメニューの [①] をクリックします。
- ② [詳細] をクリックします。
- ③ [デバイスメンテナンス] ⇨ [アドレスフィルタ] に移動します。
- ④ 設定を変更して、[適用] をクリックします。



## 7.6 アップグレード

**警告** アップグレード中は電源を切らないでください。

### 7.6.1 ローカルアップグレード

#### 開始前に

アップグレード用ファームウェアを USB ストレージに保存し、DVR に接続してください。

### ☞ 設定方法

- ① システムメニューの [①] をクリックします。
- ② [↑] をクリックします
- ③ [ローカルアップグレード] をクリックします。



- ④ デバイス名で USB ストレージを選択します。
- ⑤ アップグレード用ファームウェアを選択します。
- ⑥ アップグレードをクリックします。  
デバイスは自動的に再起動します。

## 7.6.2 オンラインアップグレード

最新のオンラインファームウェアで DVR をアップグレードします。

### 設定方法

- ① システムメニューの [①] をクリックします。
- ② [↑] をクリックします。
- ③ [オンラインアップグレード] に移動します。



- ④ [最新のアップグレードパッケージを自動で確認]、[最新のアップグレードパッケージを自動でダウンロード] を任意でクリックします。

最新のアップグレードパッケージを自動で確認	有効にすると、最新のファームウェアを自動的に確認します。
最新のアップグレードパッケージを自動でダウンロード	有効にすると、最新のファームウェアを自動的にダウンロードします。

- ⑤ 新しいファームウェアバージョンが利用可能な場合、デバイスをアップグレードしてください。デバイスは自動的に再起動します。



イベントが発生すると、アラームセンターで詳細を確認できます。

## 8.1 イベントヒントの設定

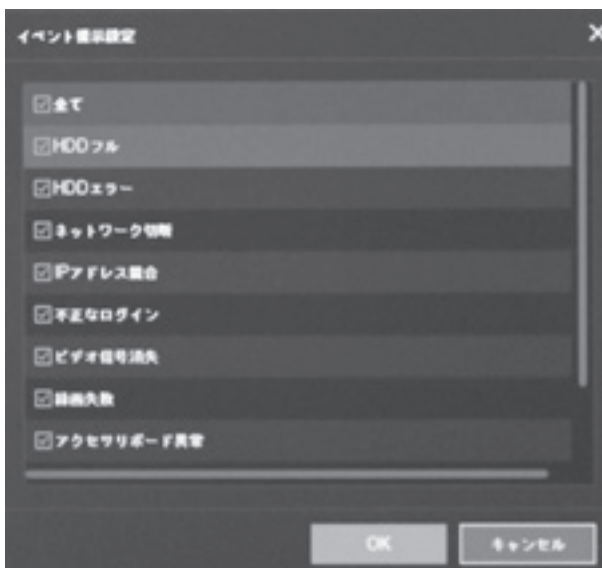
アラームセンターで通知するイベントを選択します。

### 設定方法

- ① システムメニューの [🔔] をクリックします。
- ② 異常検知設定、基本イベント、またはスマートイベントを必要に応じて設定します。



- ③ [⚙️] をクリックし、通知するイベントを選択します。



- ④ [OK] をクリックします。  
選択したイベントが発生すると、アラーム情報が [🔔] に表示されます。

## 8.2 アラーム情報を表示・再生

### 🔔 設定方法

- ① システムメニューにある [🔔] をクリックします。
- ② 異常検知設定、基本イベント、またはスマートイベントをクリックして、必要に応じて表示します。
- ③ オプション 表示されたリストのを [🔍] クリックすると、プレビューウィンドウでフ録画ファイルを再生できます。



# 遠隔監視システム

Guarding Vision アプリ (iOS 端末版・Android 端末版) またはブラウザで、DVRの映像を遠隔監視することができます。

## 開始前に

- 遠隔監視システムを使用するには DVR 本体のネットワークの設定を行い、[Guarding Vision] を有効にしておく必要があります。DVR の設定 ⇒ ネットワーク⇒ Guarding Vision の [Guarding Vision] の [有効化] をオンにします。
- ⑧ アプリ版またはブラウザ版でアカウント登録した場合は、アプリ版、ブラウザ版どちらもそのアカウントでログインすることができます。その場合は新たにアカウントを登録する必要はありません。

## ▼ 操作方法

	アプリ版 Guarding Vision	ブラウザ版 Guarding Vision
システム要件	iOS : iOS 7 以降 Android : Android4.0 以降	OS : Windows 10 / Windows 11 ブラウザ : Microsoft Edge
アプリ起動	App Store (iOS)、 Google Play (Android) から、 「Guarding Vision」を 検索してインストール 	<a href="https://www.guardingvision.com">https://www.guardingvision.com</a> へアクセス
アカウント登録		 ↓ 
	<p>携帯電話番号または Eメールアドレスでアカウントを登録することができます。            ビジターモードでログインすると登録なしで DVR を管理することができます。</p>	

DVR  
登録方法

- ① QRコードをスキャン
- ② Guarding Visionドメインによる手動登録
- ③ IP/ドメインによる手動登録
- ④ オンラインのDVR追加
  - Ⓢ 設定するデバイスがWi-Fiに接続されていることを確認してください。また、登録するDVRが設定するデバイスと同じLANに接続されていることを確認してください。



DVRが登録されると、デバイス選択画面が表示されます。



映像を確認するデバイスをクリックすると、ライブビュー画面になります。

DVR  
ログイン  
方法

Ⓢ 同じネットワーク上にあるDVRは、以下の操作を行わなくても自動的に認識されます。

- ① [追加] をクリックして、DVRのシリアル番号からDVRを検索します。
  - Ⓢ 大文字と小文字は区別されます。シリアル番号はDVR本体の裏面もしくは梱包箱のシールに記載されている「Serial No.」に続く英数字です。
- ② DVRが大きく表示されたら[+]マークをクリックします。
- ③ [認証コード]の入力画面が表示されますので、DVRの[プラットフォームへのアクセス]メニューで登録した[検証コード]を入力し、[追加] をクリックします。
- ④ ウィンドウに[追加されました]と表示されたら[OK] をクリックします。



- ① 青い数字で表示されている[IP/ポート番号] をクリックします。
- Ⓢ DVRとPCを同じルーターでネットワーク接続している場合、この操作ではPCでDVRの映像を見ることはできません。この場合はPCのインターネットエクスプローラーのアドレスバーにDVRのローカルIPアドレス「IPv4アドレス」を入力し、Enterキーを押すとログイン画面が表示されます。



- ② DVR本体のユーザー名とパスワードを入力して[ログイン] をクリックします。

## ブラウザ版 Guarding Vision で インターネット接続が上手くいかない場合は、 Microsoft Edge の Internet Explore モードを お試しください。

### ① Internet Explore モードの設定

1. マイクロソフト Edge を起動し、右上の「…」をクリックします。
2. メニューの「設定」をクリックします。
3. 「既定のブラウザ」をクリックします。
4. 「Internet Explore モードでサイトの再読み込みを許可」  
⇒ 「許可」にして再起動します。 < IE モードの有効にする >  
以上で、IE モードの設定が完了します。

### ② IE モード使用時（サイト読み込み時）

1. 右上の「…」をクリックします。
2. 「Internet Explore モードで再読み込みをする」をクリックします。  
ここまでが基本的な IE モードの使い方です。

④ Windows やブラウザのバージョンアップにより、表示画面が予告なく変更される場合や、使用できなくなる場合があります。

④ ライブビュー機能はネットワーク環境や Windows 端末の性能に依存します。  
ライブビューが滑らかに映らないときなどは、フレームレートやビットレートを適切に調整してください。

## アプリ版 ライブビュー画面の主な操作

デバイス選択画面に戻る

選択されているカメラ

表示するカメラ選択

- ・シェア
- ・設定
- ・グループに追加
- ・アイコン詳細

▼左から

- 再生 / 停止
- 音声 オン / オフ
- 画質選択
- 分割画面数選択
- 縦 / 横 画面表示切替

▼上段左から

- 録画再生
- 画面キャプチャ
- 画面録画
- マイク
- PTZ コントロール

▼下段左から

- ズーム
- アラーム出力コントロール
- ノイズリダクションレベル

アイコンの順序の調整



## ブラウザ版 ライブビュー画面の主な操作

ご使用の前に

設定・操作

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

遠隔監視システム

仕様・保証

▼左から

- 画面録画
- メインストリーム / サブストリーム選択

▼左から

- ・ライブビュー
- ・再生 (録画ファイルを検索して再生)
- ・画像 (画像ファイルを検索・ダウンロード)
- ・環境設定

PTZ コントロール  
パネル



▼左から

- 分割画面数選択
- メインストリーム / サブストリーム選択
- マイク
- (サポート外)

▼左から

- ライブビュー画面表示切替
- キャプチャ
- 録画開始 / 停止
- ズーム
- ← 前のページへ移動
- 次のページへ移動
- ミュート
- フルスクリーン



## ブラウザ版 再生画面の主な操作

▼上から

- ・カレンダー
- ・メインストリーム / サブストリーム選択
- ・検索ボタン

カメラ選択切替

▼左から

- ・逆再生
- ・停止
- ・スロー順再生
- ▶ / || 再生 / 一時停止
- ▶ 早送り
- ▶ シングルフレーム

▼左から

- すべての再生を停止
- キャプチャ
- ▶ クリップ開始 / 停止
- デジタルズーム
- ミュート
- ダウンロード
- フルスクリーン


タイムライン

非同期 / 同期

▼左から

- 分割画面数選択
- (サポート外)

タイムラインメモリ切替

カレンダーで再生したい日を選択した後、再生の開始時間(時・分・秒)を入力して  をクリックすると、再生を開始します。

モーション検知 2.0	
人物 / 車両分析	ディープラーニングベースのモーション検知 2.0 は、人と車両を分類し、葉や照明などの物体による誤警報を大幅に削減します。対象物やイベントタイプによるクイック検索をサポート。
境界保護	
人物 / 車両分析	最大 2 チャンネル
顔検出	
顔検出とキャプチャ	顔画像検出、顔画像検索
録 画	
データレート	H.265 Pro+/H.265 Pro/H.265/H.264+/H.264
ビデオビットレート	32Kbps ~ 6Mbps
デュアルストリーム	サポート
ストリームタイプ	ビデオ、ビデオ&オーディオ
オーディオ圧縮	G.711u
オーディオビットレート	64Kbps
ビデオとオーディオ	
アナログビデオ入力	4CH BNC インターフェース (1.0 Vp-p、75 Ω)、Coaxitron 接続対応
HDMI 出力	1CH、1920 × 1080/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz
VGA 出力	1CH、1920 × 1080/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz
ビデオ出力モード	HDMI / VGA 同時出力
オーディオ入力	1CH、RCA 端子 (2.0Vp-p、1KΩ) 同軸ケーブル経由 4CH
オーディオ出力	1CH、RCA 端子 (リニア、1KΩ)
補助インターフェース	
SATA	× 1
容量	4TB
アラーム入力 / 出力	該当なし
USB インターフェース	2 (USB 2.0)
一 般	
電源	12VDC、1.5A
消費電力	≤ 8W (HDD なし)
動作温度	-10℃ ~ +55℃
動作湿度	10% ~ 90%
外形寸法	幅 200 × 奥行 200 × 高さ 48 mm
重量	約 1 kg

④ 動体検知と周辺保護は同時に有効にできません。一方の機能を有効にすると、もう一方の機能は利用できなくなります。

- 修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は、お買い上げの販売店へご相談ください。販売店に相談できない場合は、下記へお問い合わせください。

### 株式会社セレン

TEL : 03-5911-1045

FAX : 03-5911-1046

E-mail : info@selen.co.jp

#### 【受付時間】

平日（祝日除く）

10 : 00 ~ 18 : 00

※通話・通信料金は、お客様ご負担になります。

※お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などに利用いたします。

※利用目的の範囲内で当該製品に関連する関係会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

#### ○保証書（一体）

- ・保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店」などの記入をお確かめの上、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- ・保証期間中の故障は保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。

#### ○補修用性能部品の保有期間

- ・デジタルワイヤレスカメラセットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

#### ○部品について

- ・修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を利用することがあります。
- ・部品共通化のため、一部予告なしに仕様や外観を変更することがあります。

#### ○修理を依頼されるときは（持込修理）

- ・異常があるときは、電源を切り使用を中止して、必ず専用 AC アダプターをコンセントから抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

#### ◆保証期間中は…

保証書の規程にしたがって、当社が修理をさせていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

#### ◆保証期間が過ぎているときは…

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### ◆修理料金のしくみ…

修理料金は、技術料、部品代などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代：修理に使用した部品代金です。

# ハードディスクレコーダー保証書

## 持込修理

本書は、取扱説明書・本体などの記載内容にそった正しいご使用のもとで保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって当社が無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また、本書は再発行しませんので、紛失しないように、大切に保管してください。

- 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
    - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
    - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
    - 火災、天災地変（地震、風水雪害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
  - 本書のご提示がない場合。
  - ホ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
  - ヘ) 消耗部品の交換。
  - ト) 一般家庭用以外（例えば業務用）にご使用の場合の故障、損傷。
- 修理で取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、当社で引き取らせていただきます。
  - 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
  - ご転居またはご贈答などでお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、当社へご相談ください。

型名	DVR-AT32シリーズ	
保証期間	お買い上げの日から1年間（付属品を除く）	
お客様	お名前	
	ご住所	
★お買い上げ日		
★販売店		
修理メモ		

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理のために必要なお客様の個人情報を当社から修理委託している保守会社などに提供する場合がございますが、個人情報保護法および当社の個人情報保護規定を遵守させていただきますのでご了承ください。

株式会社セレン 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-11-6 相馬ビル 電話 03-5911-1045